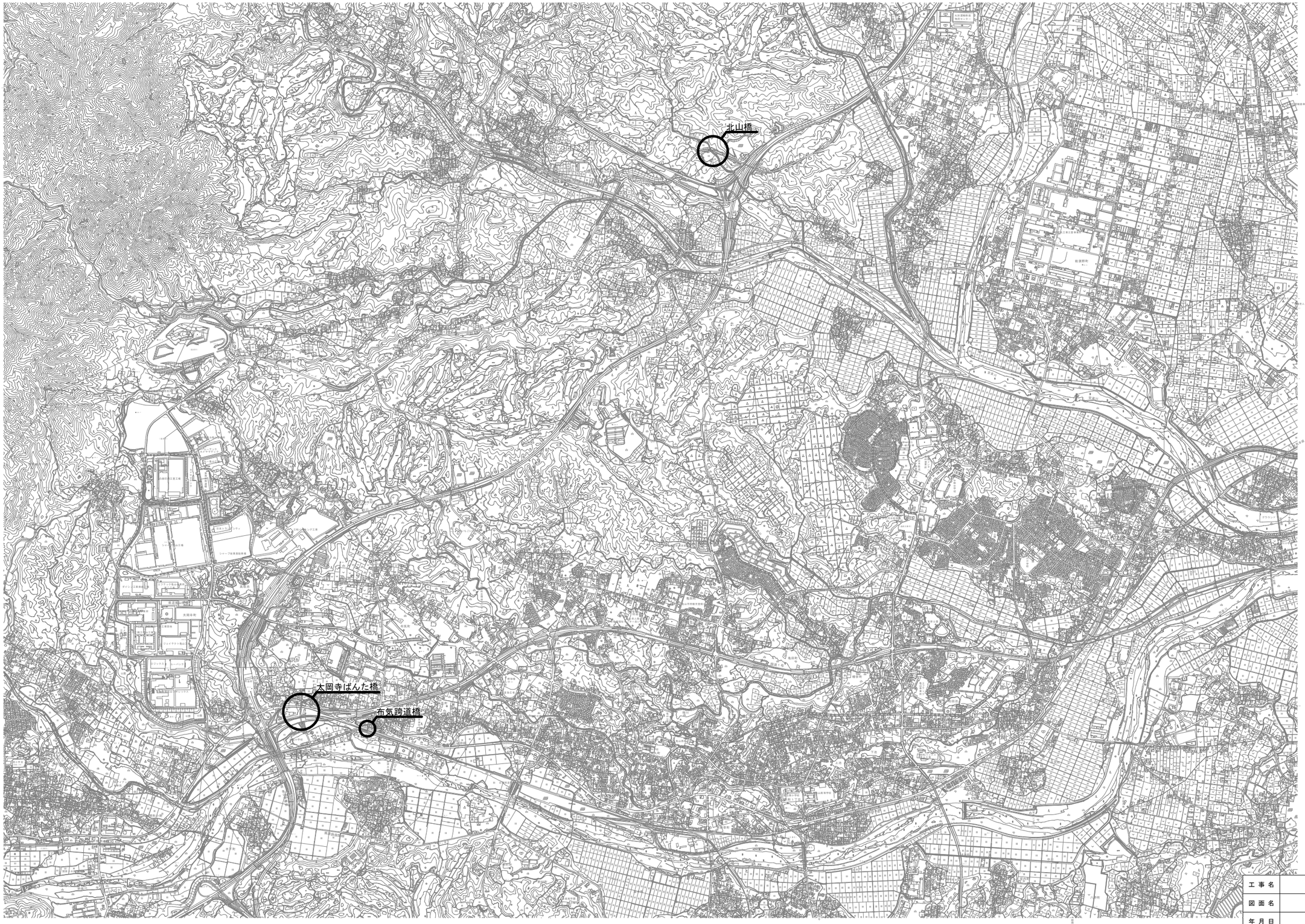
位　置　図

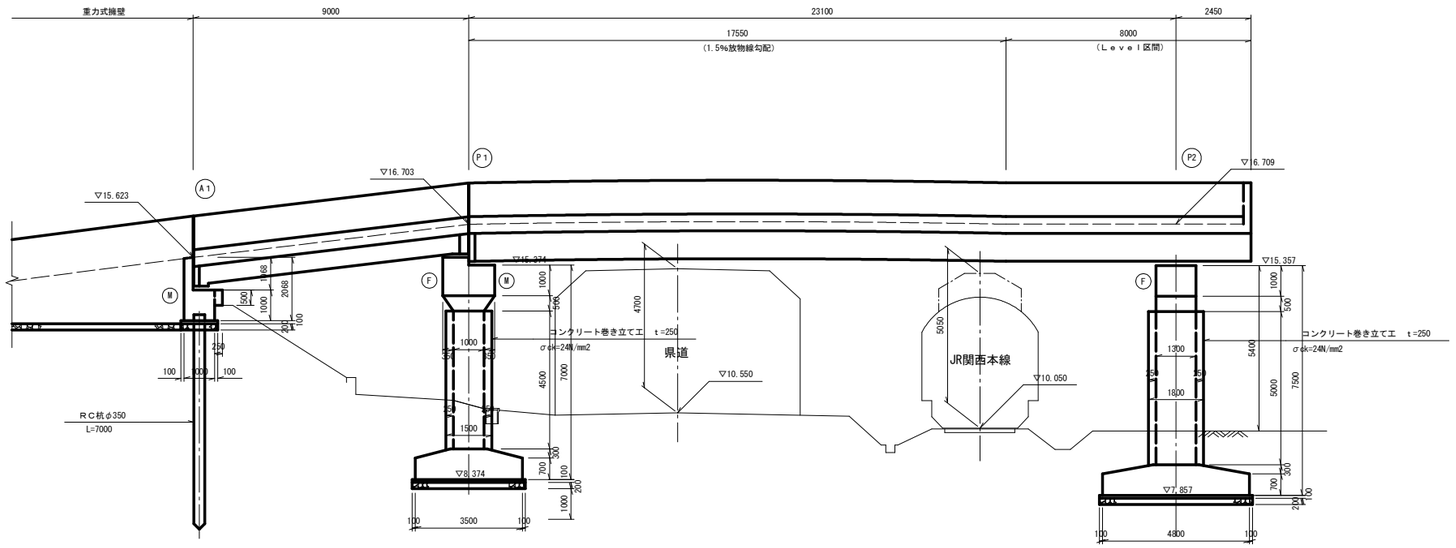


工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	位置図		
年月日			
尺　度	1：15,000	図面番号	1
会社名			
事務所名	亀山市		

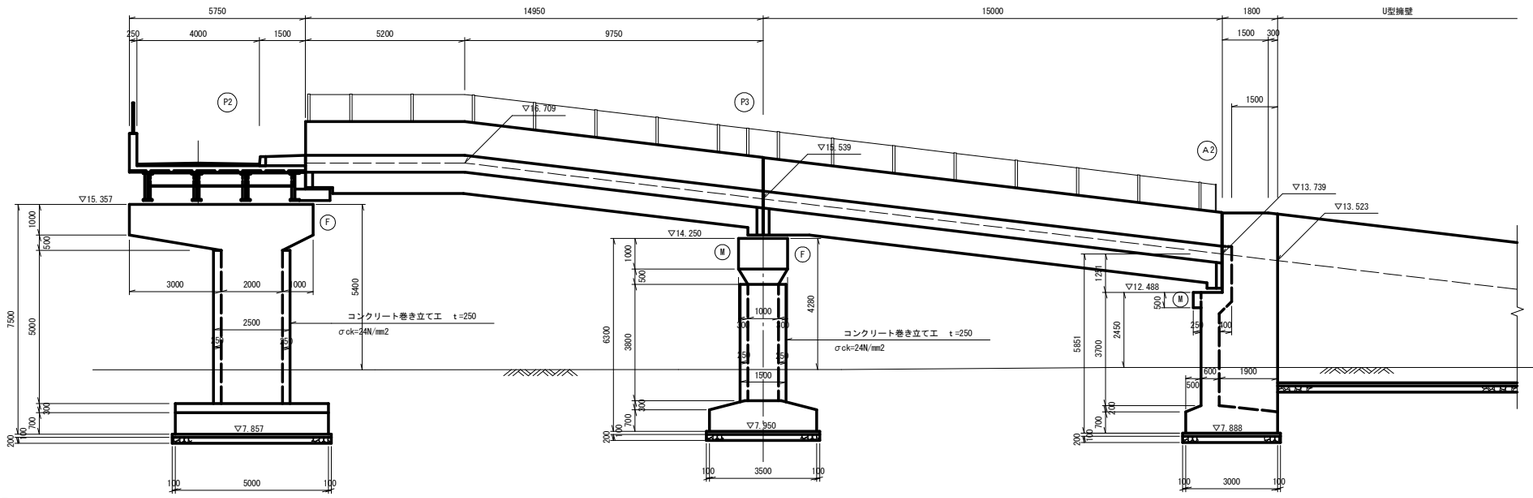
布 気 跨 道 橋 現 況 一 般 図

側 面 図

S=1/100



DL=仮BM+5.00

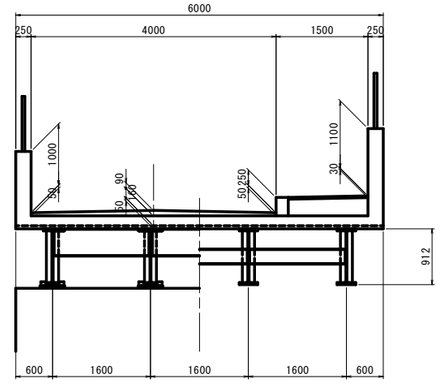


DL=仮BM+5.00

断 面 図

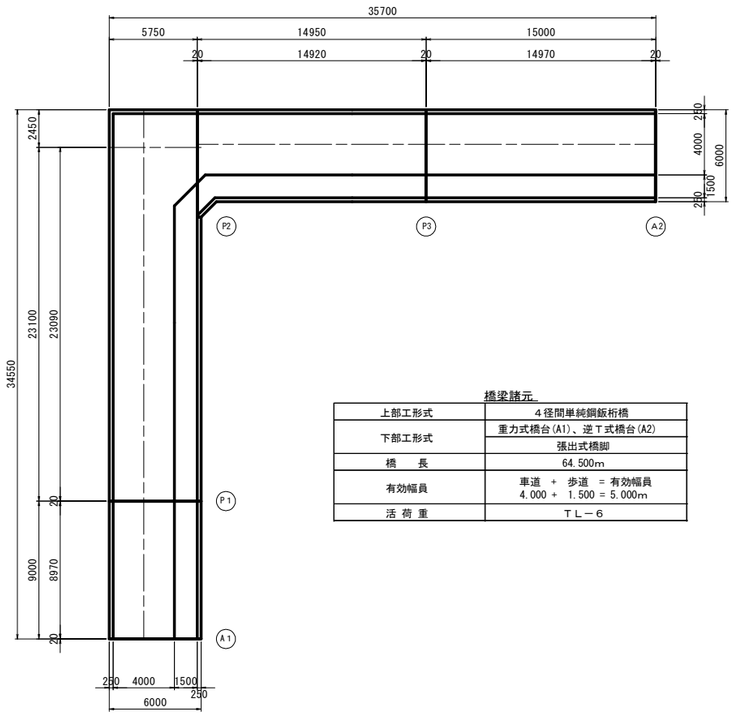
S=1/50

支点部断面　　中間部断面



平 面 図

S=1/200



橋梁諸元

上部工形式	４径間単純鋼鈑桁橋
下部工形式	重力式橋台(A1)、逆Ｔ式橋台(A2)
	張出式橋脚
橋　　長	64.500m
有効幅員	車道　＋　歩道　＝ 有効幅員 4.000 ＋ 1.500 ＝ 5.000m
活 荷 重	Ｔ Ｌ－６

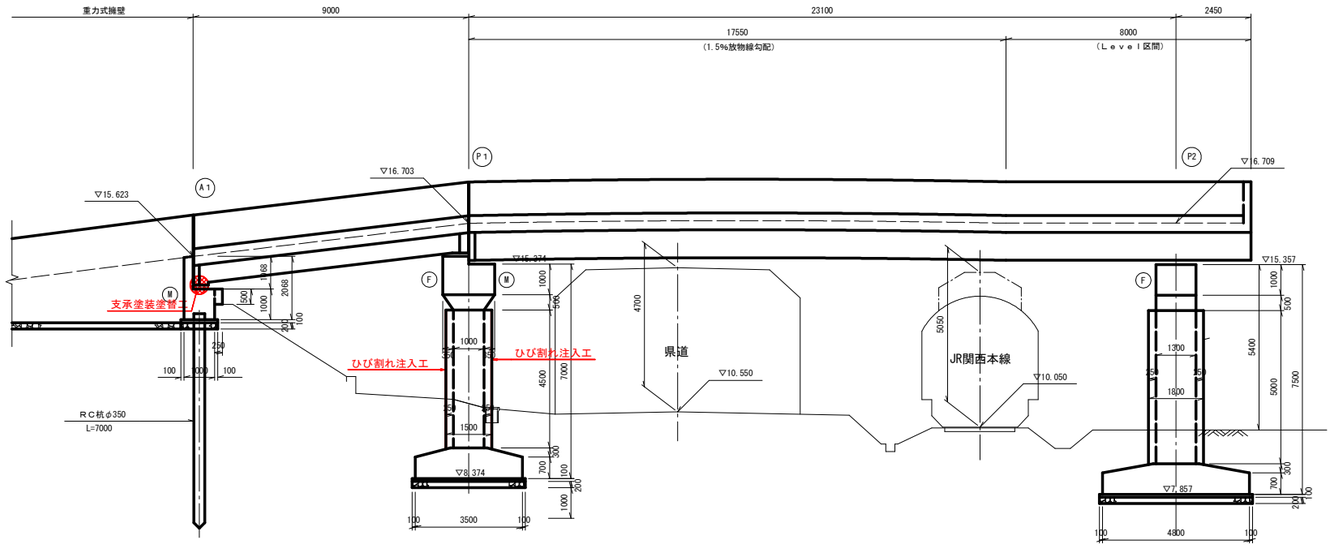
※橋梁計上寸法は「橋脚耐震補強全体一般図(H16.12)」をトレースしている。

工 事 名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図 面 名	布気跨道橋 現況一般図		
年 月 日			
尺　　度	図 示	図面番号	2
会 社 名			
事務所名	亀山市		

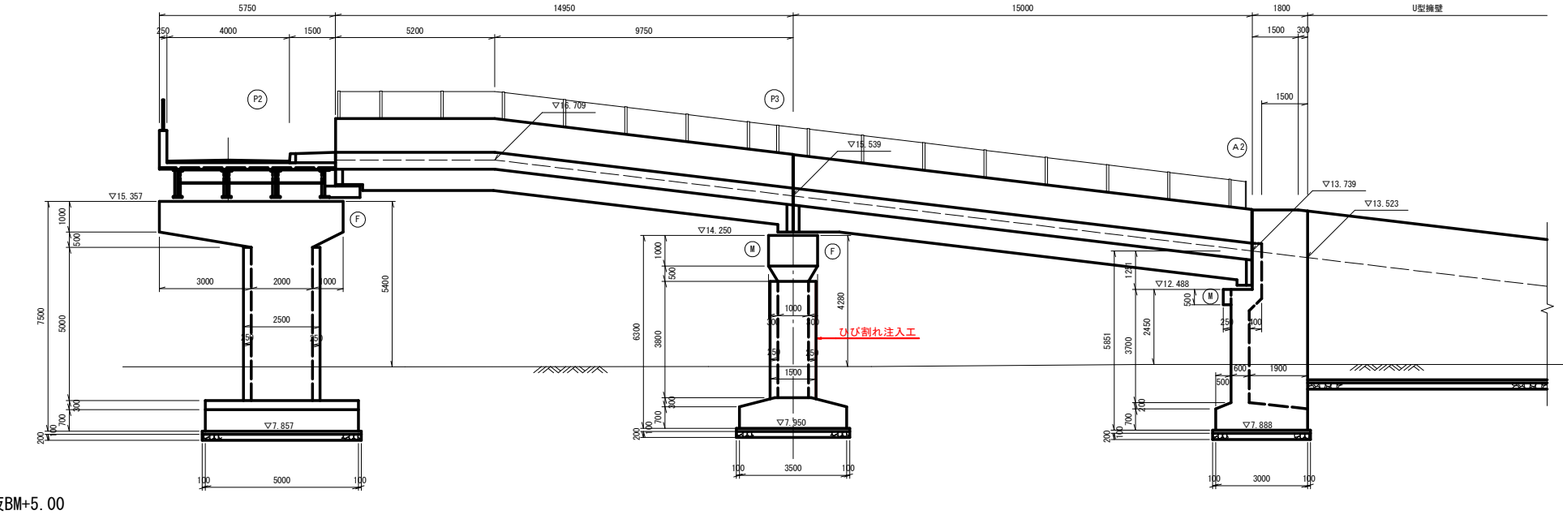
布 気 跨 道 橋 補 修 一 般 図

側 面 図

S=1/100



DL=仮BM+5.00

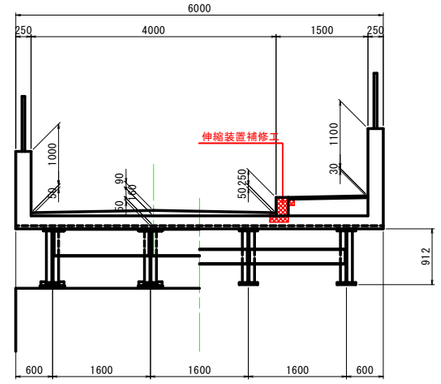


DL=仮BM+5.00

断 面 図

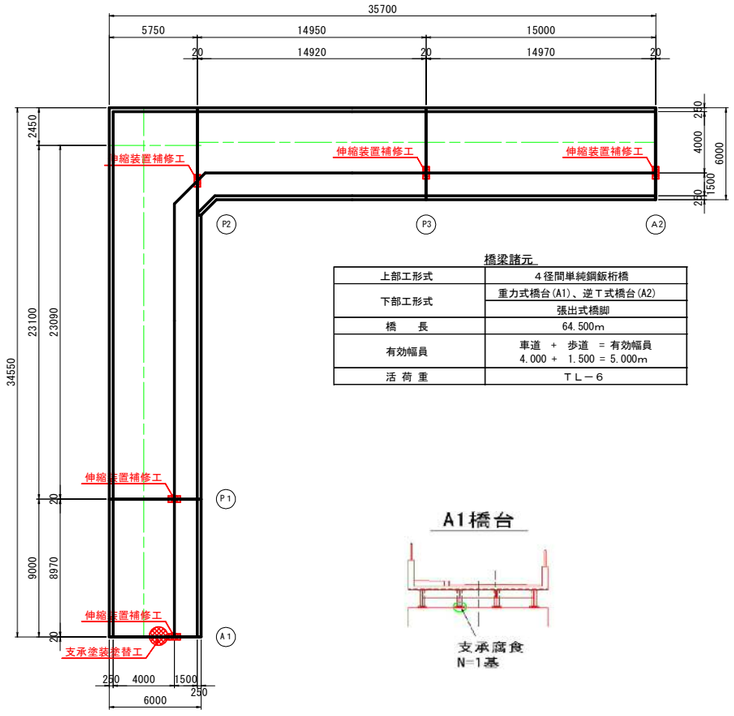
S=1/50

支点部断面　　中間部断面



平 面 図

S=1/200



橋梁諸元

上部工形式	４径間単純鋼鈑桁橋
下部工形式	重力式橋台(A1)、逆Ｔ式橋台(A2)
	張出式橋脚
橋　長	64.500m
有効幅員	車道 ＋ 歩道 ＝ 有効幅員 4.000 ＋ 1.500 ＝ 5.000m
活 荷 重	Ｔ Ｌ－６

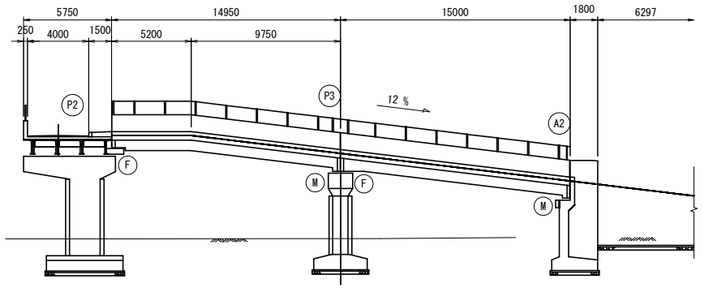
A1橋台

※橋梁計上寸法は「橋脚耐震補強全体一般図(H16.12)」をトレースしている。

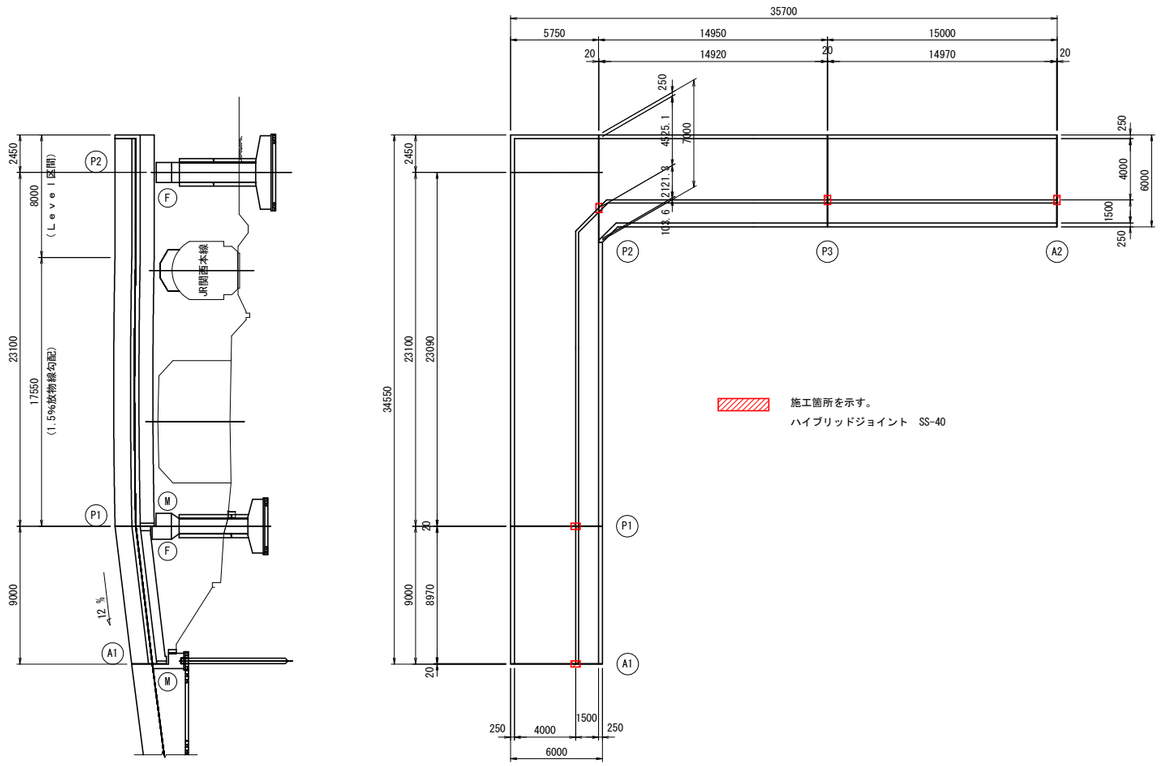
工 事 名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図 面 名	布気跨道橋 補修一般図		
年 月 日			
尺　度	図 示	図面番号	3
会 社 名			
事務所名	亀山市		

布気跨道橋　伸縮装置補修図(その1)

側　面　図　S=1:200



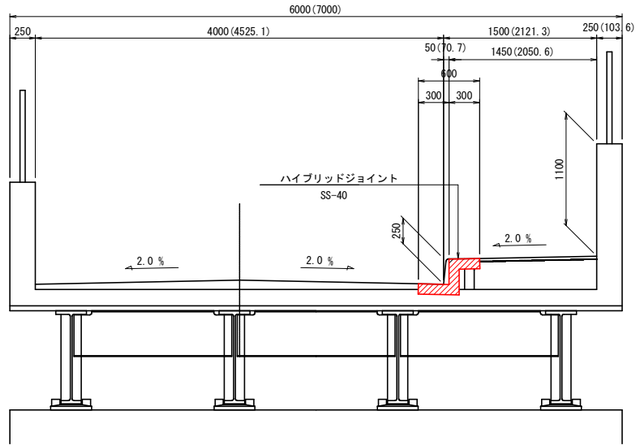
平　面　図　S=1:200



施工箇所を示す。
ハイブリッドジョイント　SS-40

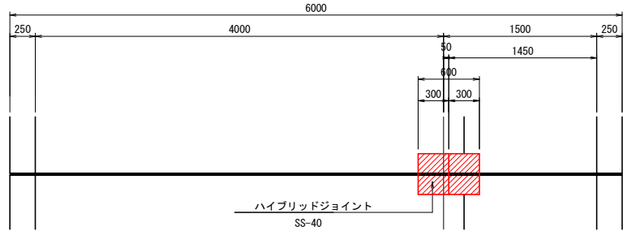
断　面　図　S=1:30

( )内はP2側の数値を示す。

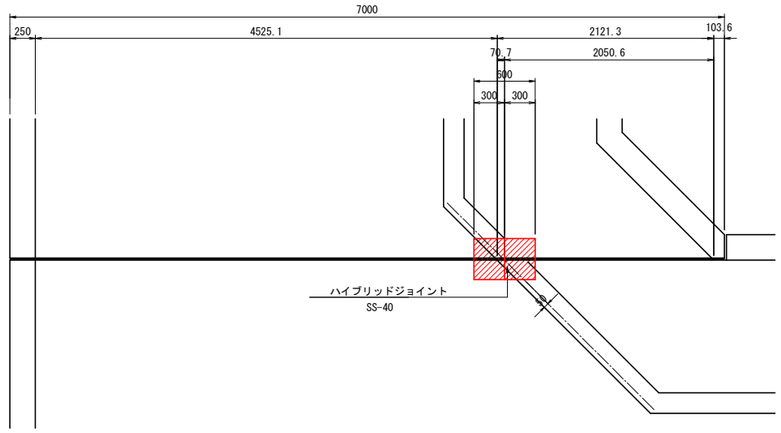


平　面　図　S=1:30

A1,P1,P3,A2



P2



注記

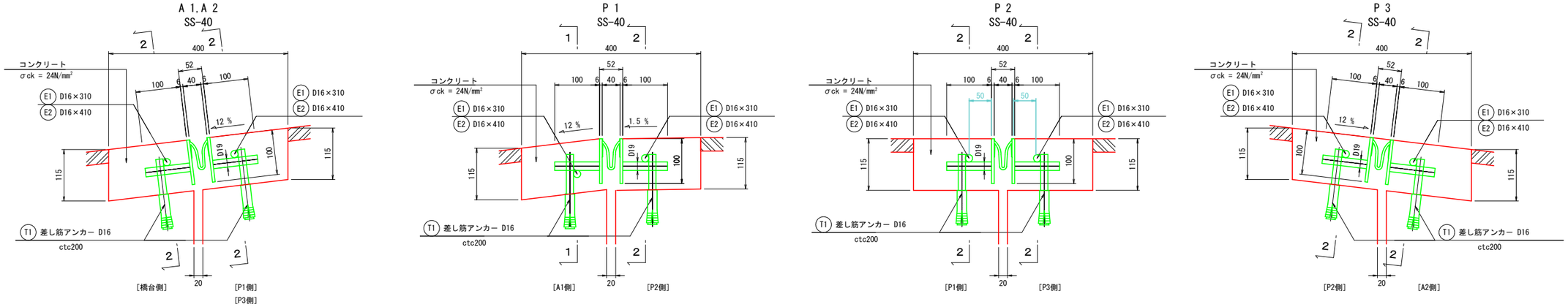
・施工時の通行を許容する場合は、交通整理員を配置して交通誘導を行い安全を確保すること。

工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	布気跨道橋　伸縮装置補修図(その1)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	4
会社名			
事務所名	亀山市		

布気跨道橋　伸縮装置補修図(その2)

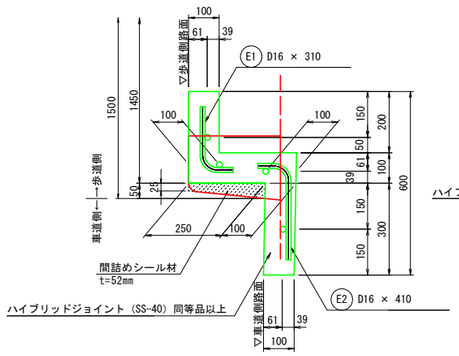
（参考:ハイブリットジョイント同等品以上）

取付断面図　S=1:5

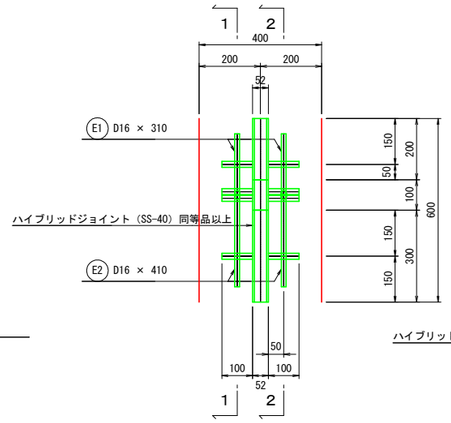


取付側面図（１－１）　S=1:10

※P1起点側のみ

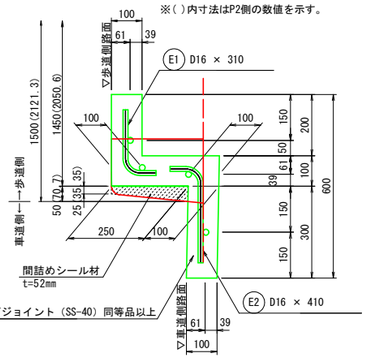


取付平面図　S=1:10

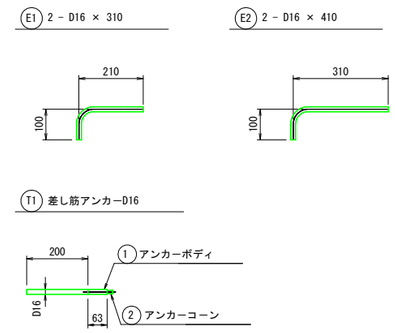


取付側面図（２－２）　S=1:10

※( )内寸法はP2側の数値を示す。



鉄筋加工図



注1）仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。

伸縮装置補修工数量表

1箇所当り

種別		規格	単位	数量	備考
下地処理・ケレン工			m	0.850	
設置延長			m	0.850	
ハイブリッドジョイント同等品以上	SS-40	52×100h×L	m	0.850	
補強鉄筋	E1	D16×310	kg	1.0	
	E2	D16×410	kg	1.3	
差し筋アンカー	T1	D16×200	本	4	
間詰めシール材		2成分形変成シリコン系	ℓ	0.001	
コンクリート		24-8-25	m³	0.031	

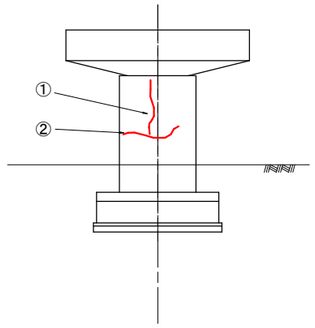
注記）
1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地調査」等に基づくものであり、
工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工数量については、必ず現地にて寸法計測を行い、現地状況確認の上で補修数量
および施工方法を監督職員の承諾を得て決定すること。

工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	布気跨道橋 伸縮装置補修図(その2)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	5
会社名			
事務所名	亀山市		

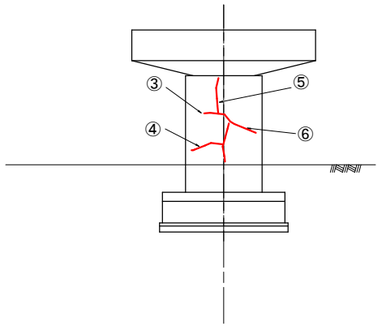
布気跨道橋　ひび割れ注入工詳細図

下部工正面図 S=1:100

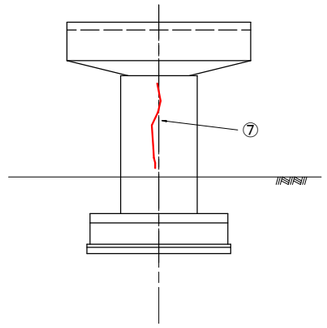
Ｐ１橋脚
（Ａ１橋台側）



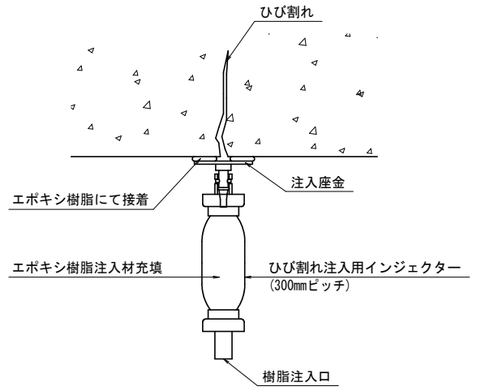
Ｐ１橋脚
（Ａ２橋台側）



Ｐ３橋脚
（Ａ２橋台側）



ひび割れ注入工
（ひび割れ幅0.5㎜以下）



1m当り

工　種	規　格	数　量	備　考
ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系	0.029 kg	
シール工	エポキシ樹脂系	0.255 kg	
注入インジェクター		3 個	@300

注記 ：　ひび割れ注入施工手順
1. ひび割れに沿って幅50㎜程度ディスクサンダー等にて下地処理を行う
2. ひび割れ中心位置に注入パイプを300㎜間隔程度に取り付ける。
3. ひび割れに沿って幅50㎜厚さ3㎜程度シール材にてシールする。
4. 注入パイプを取り付け、エポキシ樹脂を注入する。
5. 硬化後取り付けパイプを撤去しディスクサンダー等にて仕上げる。
6. 0.5㎜以上の連続したひび割れが確認された場合には、注入材料及び工法について協議すること。

損傷状況及び形状寸法

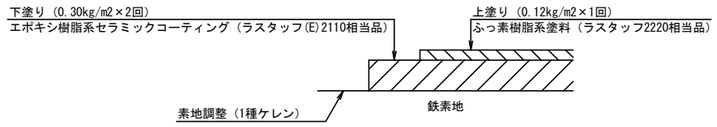
径間位置	箇所番号	橋台位置	箇所位置	幅 (mm)	長さ (m)	厚さ (m)	箇所数	損傷の種類	補修処理工法
A1-P1	①	Ｐ１橋脚	A1側正面	0.25	2.40	-	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
	②	Ｐ１橋脚	A1側正面	0.25	2.20	-	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
P1-P2	③	Ｐ１橋脚	A2側正面	0.20	1.20	-	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
	④	Ｐ１橋脚	A2側正面	0.30	1.50	-	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
	⑤	Ｐ１橋脚	A2側正面	0.30	1.20	-	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
	⑥	Ｐ１橋脚	A2側正面	0.25	1.60	-	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
P3-A2	⑦	Ｐ３橋脚	A2側正面	0.20	2.10	-	1	ひびわれ	ひび割れ注入工

(注記)
1. 補修箇所・寸法及び補修範囲は、施工前に劣化状況を確認の上決定する事。
2. 新たな劣化部が確認された場合は、監督員と協議を行う事。

工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	布気跨道橋　ひび割れ注入工詳細図		
年月日			
尺　度	図　示	図面番号	6
会社名			
事務所名	亀山市		

布 気 跨 道 橋　塗　装　構　成　図

支承部再塗装工



下塗り材　基本物性

項　　目	試験結果
引張接着強さ	23.3N/mm2
耐磨耗性(磨耗輪法)	70.9mg
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

注）

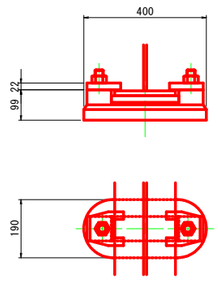
1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、塗装範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 図中詳細寸法は現地計測のうえ決定すること。
3. 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
4. 素地調整については1種ケレンとし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
5. 素地調整後から第1層までの時間は4時間以内で行うこと。
6. 使用する塗装材は、上述基本物性の塗装材を使用し、材料の取扱い注意事項に留意すること。

支承部　標準施工仕様

施工工程	使用材料	標準使用量×回数	養生時間
1　素地調整	1種ケレン	旧塗膜・さび除去、脱脂、清掃	
2　下塗り	エポキシ樹脂系セラミックコーティング	0.30kg/m2×2回（100μm×2）	4時間以内
3　上塗り	ふっ素樹脂系塗料	0.12kg/m2×1回（30μm×1回）	4～24時間以内

支承部寸法図　S=1:10

可動支承 SS-35C型
(A1-G3)



塗装面積　A=0.26㎡

支承塗装面積　　支承1基当り

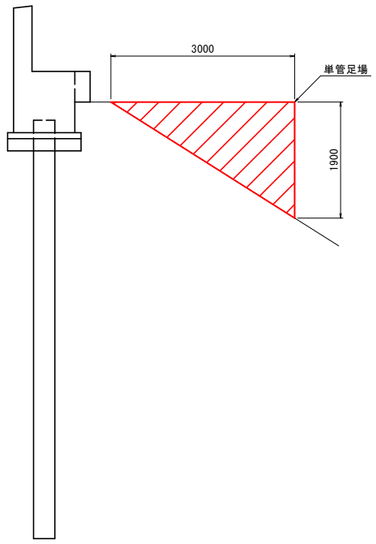
工　種	規　格	数量	養生時間
素地調整	1種ケレン	0.26 ㎡	
下塗り	エポキシ樹脂系セラミックコーティング	0.26 ㎡×2回	4～24時間以内
上塗り	ふっ素樹脂系塗料	0.26 ㎡×1回	

工 事 名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図 面 名	布気跨道橋 塗装構成図		
年 月 日			
尺　　度	—	図面番号	7
会 社 名			
事務所名	亀山市		

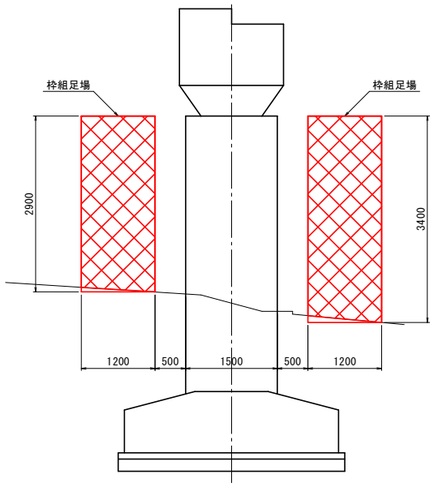
布 気 跨 道 橋 足 場 参 考 図

断 面 図 S=1:50

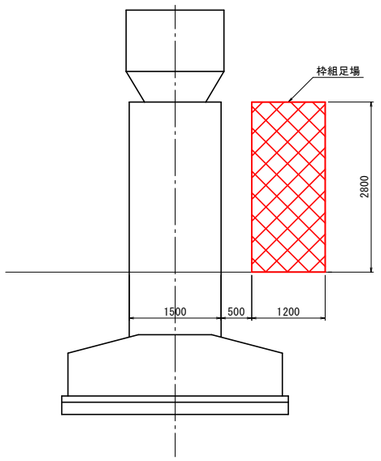
Ａ１橋台



Ｐ１橋脚

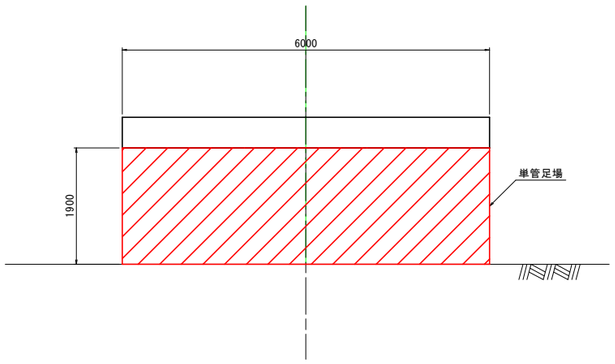


Ｐ３橋脚

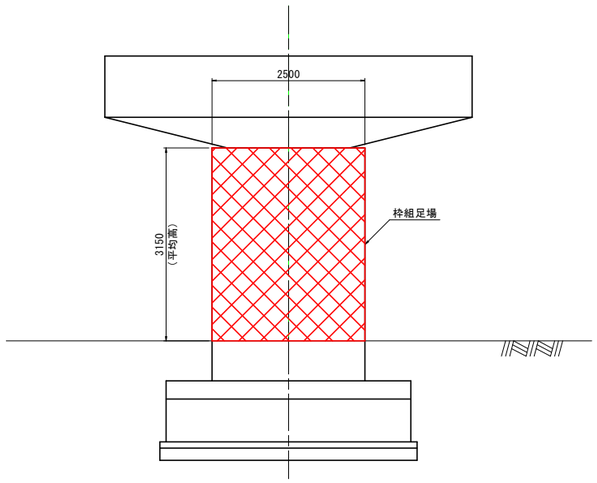


正 面 図 S=1:50

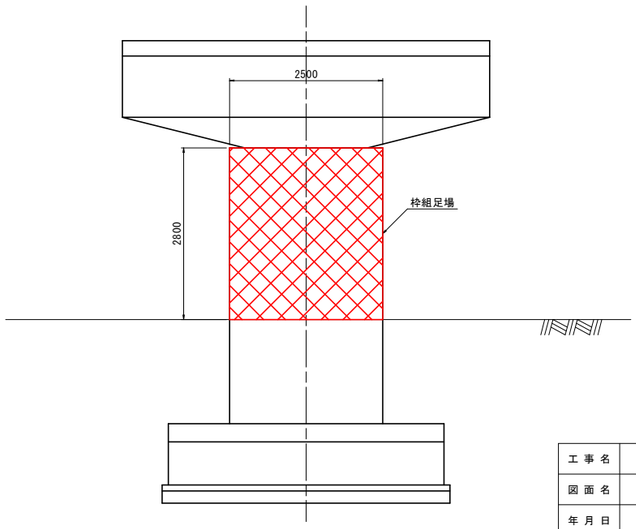
Ａ１橋台



Ｐ１橋脚



Ｐ３橋脚



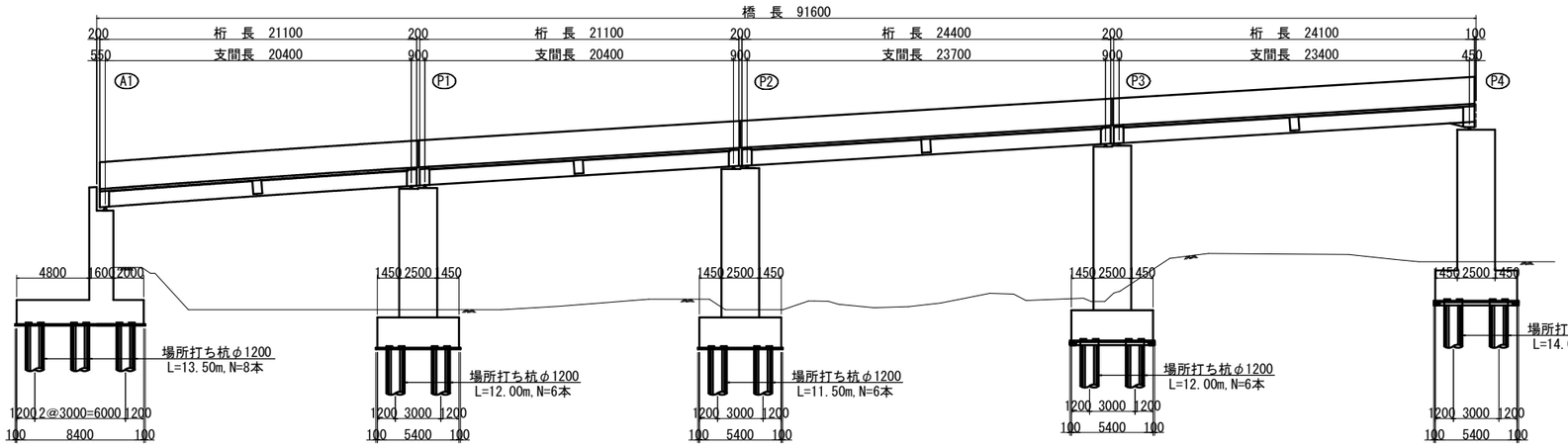
工 事 名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図 面 名	布気跨道橋 足場参考図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	8
会 社 名			
事務所名	亀山市		

太岡寺ばんた橋 一般図(1)

S=図示

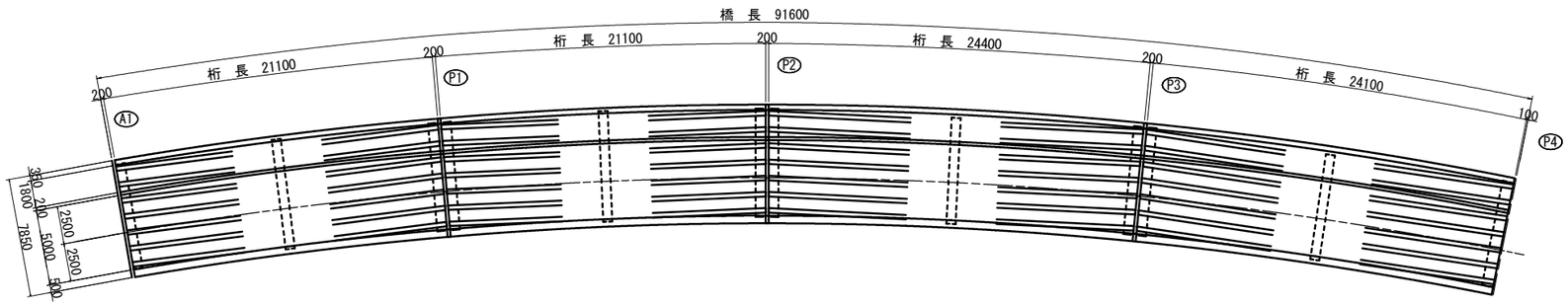
側面図

S=1:200



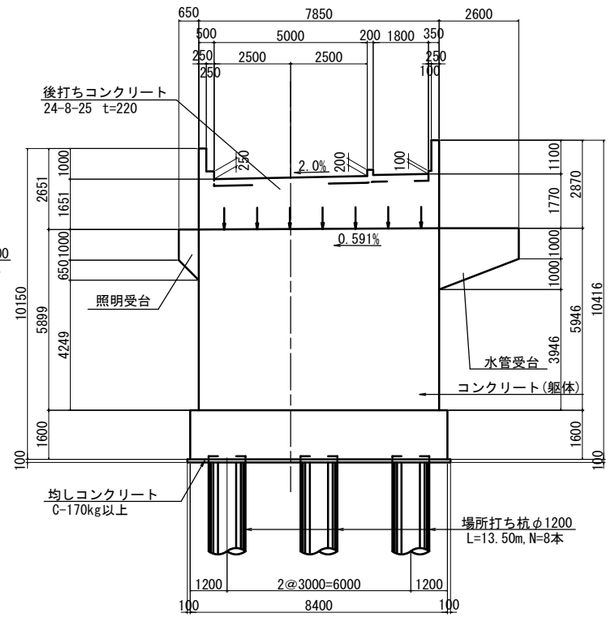
平面図

S=1:200



断面図

(A1橋台) S=1:100



諸 元

種 別	プレストレストコンクリート道路橋
形 式	4径間連結プレテンション方式T桁橋
橋 長	91.600m (CLライン上)
桁 長	21.100+21.100+24.400+24.100m (CLライン上)
支 間 長	20.400+20.400+23.700+23.400m (CLライン上)
幅 員	7.850m (有効幅員5.000+1.800m)
斜 角	90° - 00′ - 00″
荷 重	

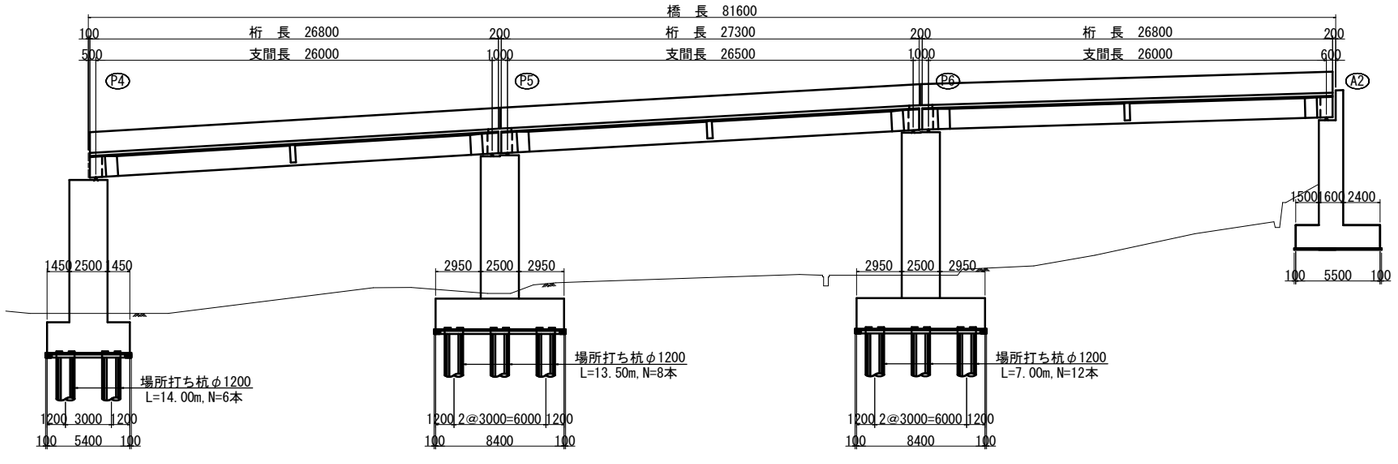
工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	太岡寺ばんた橋 一般図(1)		
年月日			
尺 度	図 示	図面番号	9
会社名			
事務所名	亀山市		

太岡寺ばんた橋 一般図(2)

S=図示

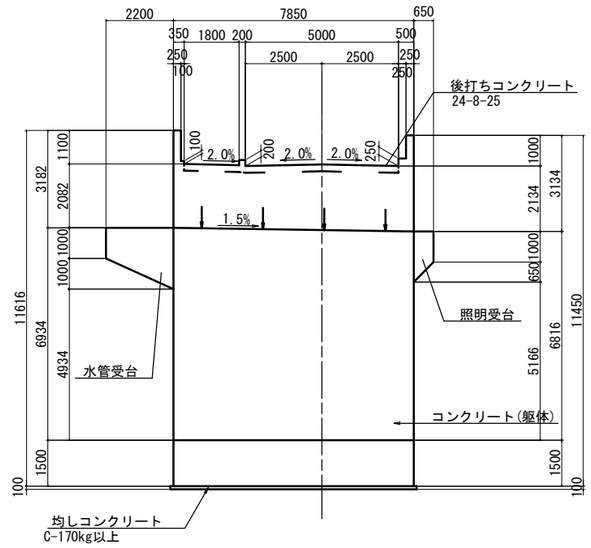
側 面 図

S=1:200



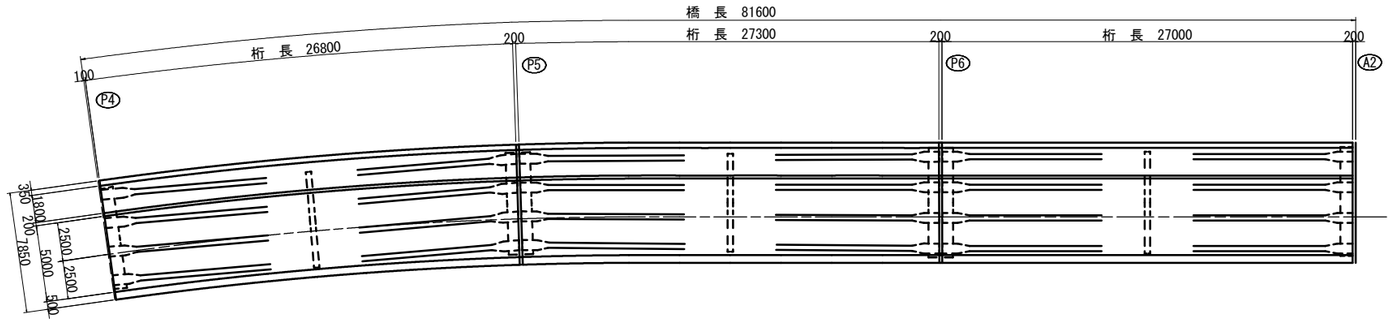
断 面 図

(A2橋台) S=1:100



平 面 図

S=1:200



諸 元

種 別	プレストレストコンクリート道路橋
形 式	3径間連結ポステンション方式T桁橋
橋 長	81.600m (CLライン上)
桁 長	26.800+27.300+26.800m (CLライン上)
支 間 長	26.000+26.500+26.000m (CLライン上)
幅 員	7.850m (有効幅員5.000+1.800m)
斜 角	90° - 00′ - 00″
荷 重	

工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	太岡寺ばんた橋 一般図(2)		
年月日			
尺 度	図 示	図面番号	10
会社名			
事務所名	亀山市		

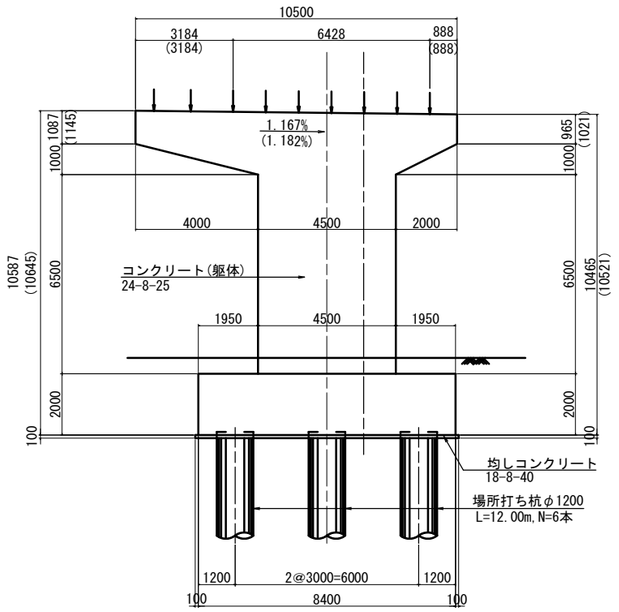
太岡寺 ばんた橋一般図(3)

S=図示

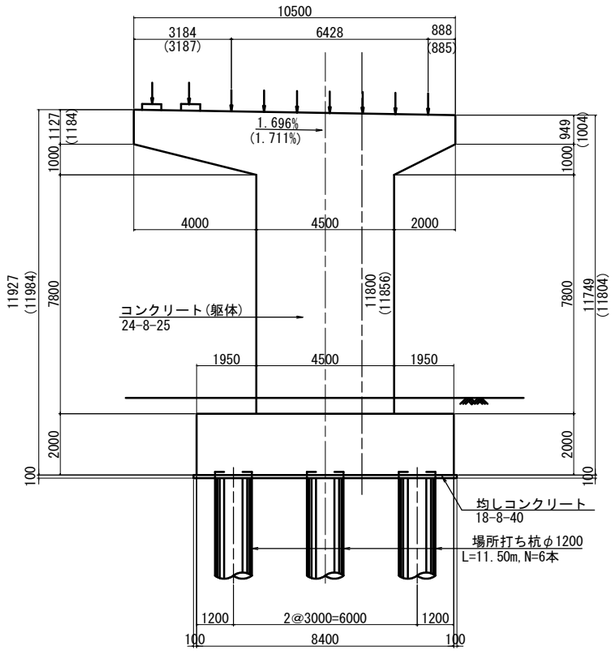
正 面 図

S=1:100

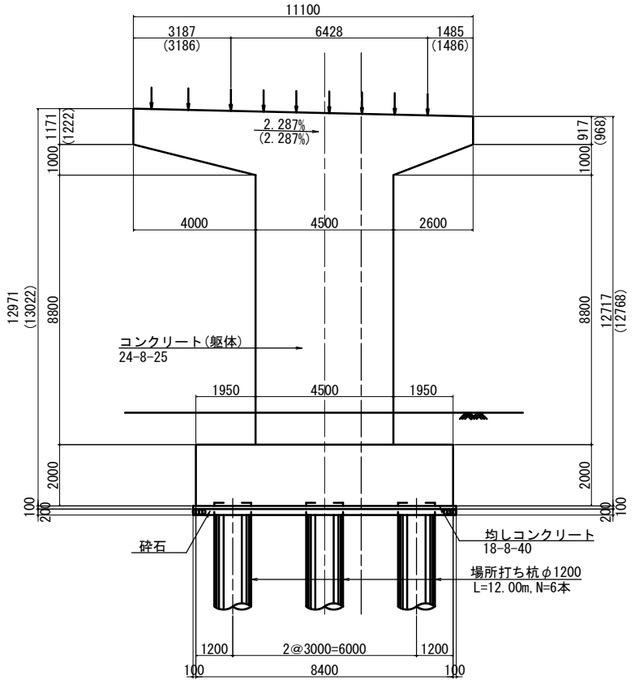
(P1橋脚)



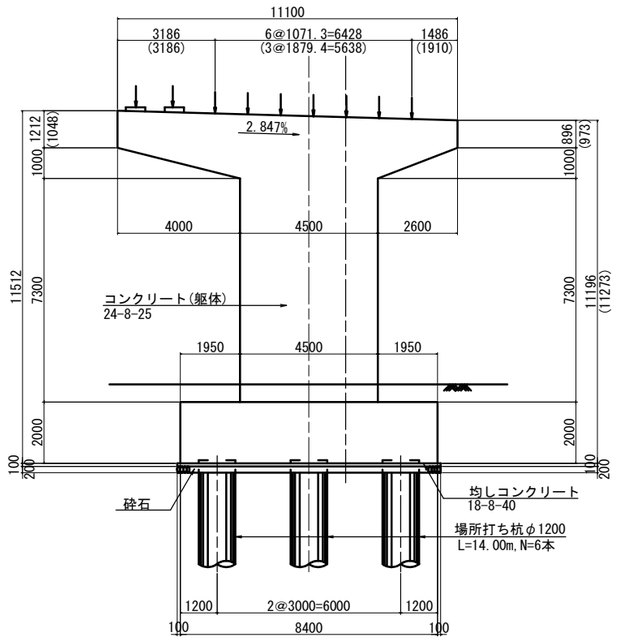
(P2橋脚)



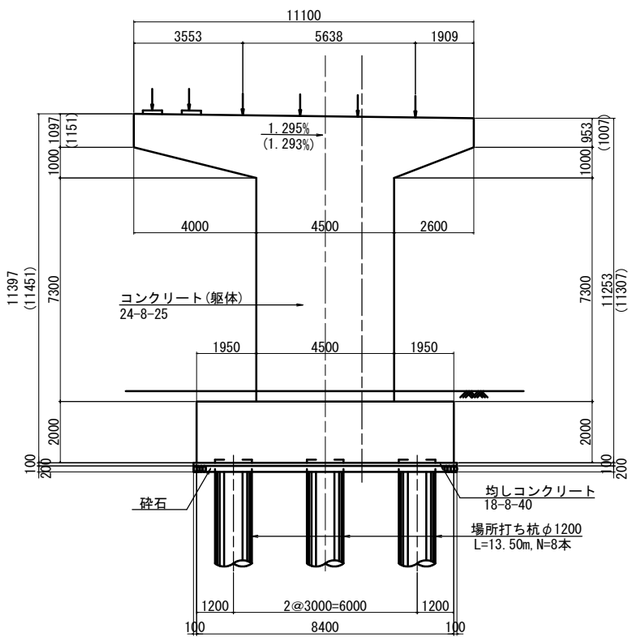
(P3橋脚)



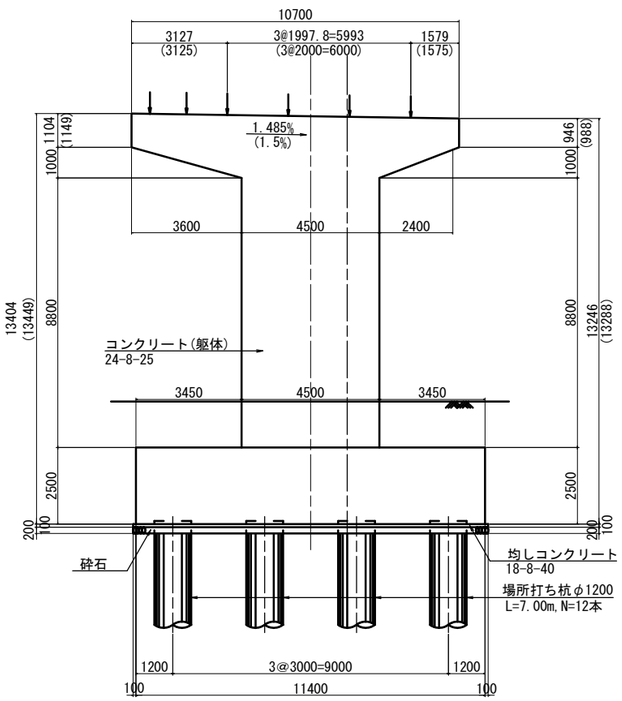
(P4橋脚)



(P5橋脚)



(P6橋脚)



※( ) 内は、終点側の寸法を示す。

工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	太岡寺ばんた橋 一般図(3)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	11
会社名			
事務所名	亀山市		

太岡寺ばんた橋 補修一般図

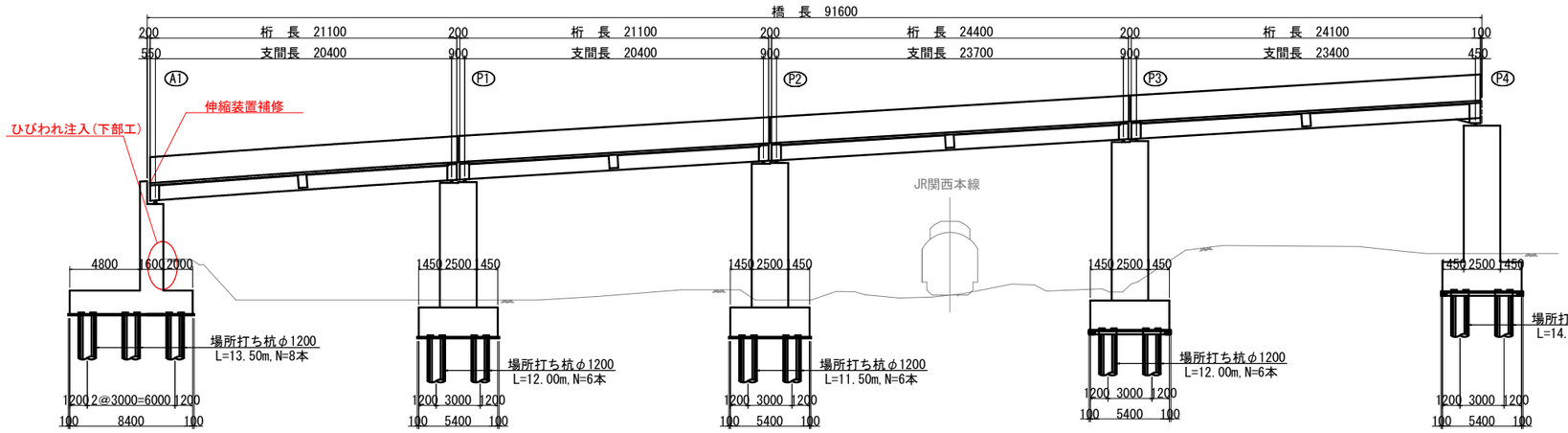
S=図示

太岡寺ばんた橋　補修数量総括表　　1式当り

名　称	規　格	単 位	数 量	摘　要
ひび割れ注入工(下部工)		式	1	
伸縮装置補修工		式	1	

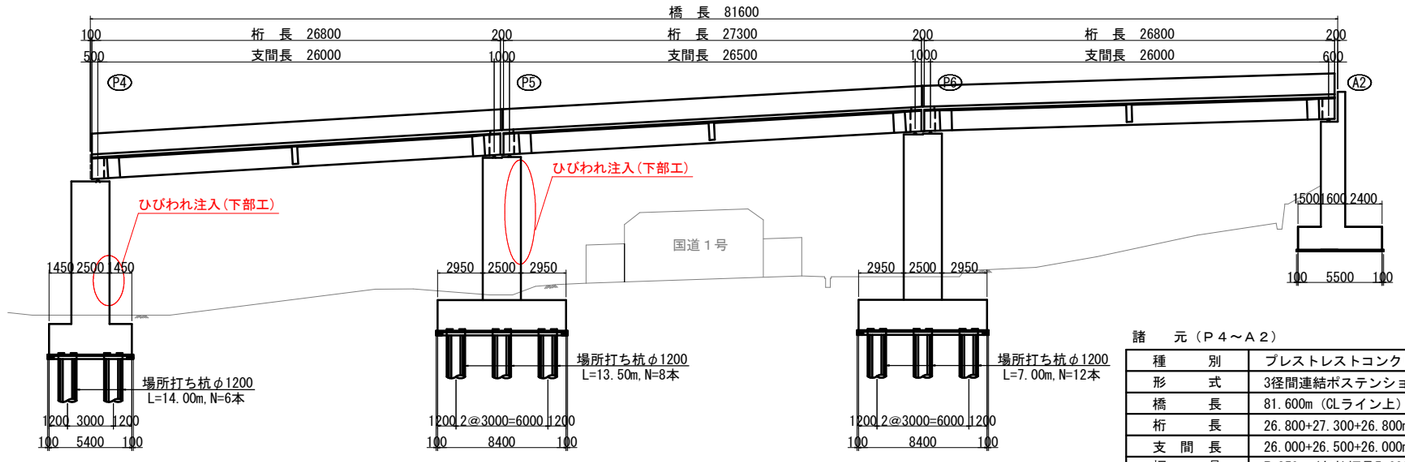
側 面 図

S=1:200



側 面 図

S=1:200



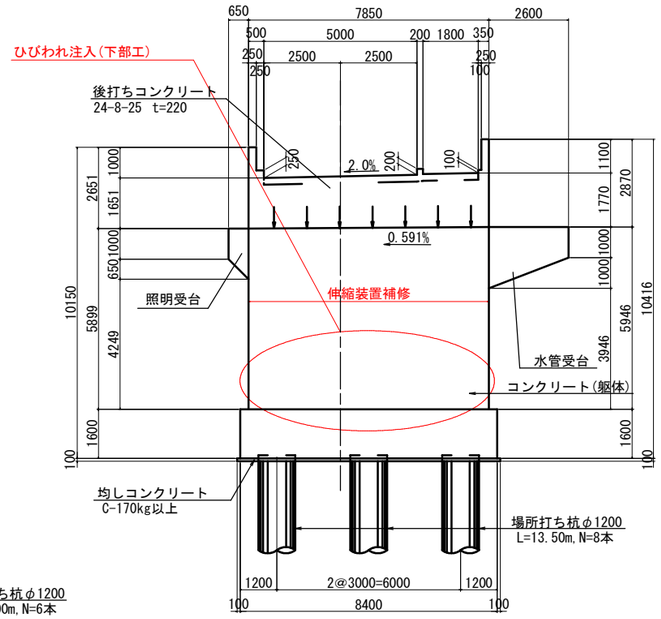
諸　元（Ａ１～Ｐ４）

種　別	プレストレストコンクリート道路橋
形　式	4径間連結プレテンション方式T桁橋
橋　長	91.600m（CLライン上）
桁　長	21.100+21.000+24.400+24.100m（CLライン上）
支 間 長	20.400+20.400+23.700+23.400m（CLライン上）
幅　員	7.850m（有効幅員5.000+1.800m）
斜　角	90°－00′－00″
荷　重	

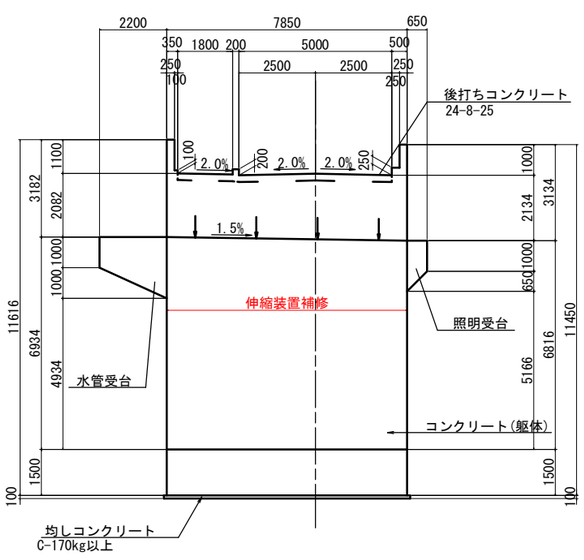
諸　元（Ｐ４～Ａ２）

種　別	プレストレストコンクリート道路橋
形　式	3径間連結ポステンション方式T桁橋
橋　長	81.600m（CLライン上）
桁　長	26.800+27.300+26.800m
支 間 長	26.000+26.500+26.000m
幅　員	7.850m（有効幅員5.000+1.800m）
斜　角	90°－00′－00″
荷　重	

断 面 図
(A1橋台) S=1:100



断 面 図
(A2橋台) S=1:100



工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	太岡寺ばんた橋補修一般図		
年月日			
尺　度	図　示	図面番号	12
会社名			
事務所名	亀山市		

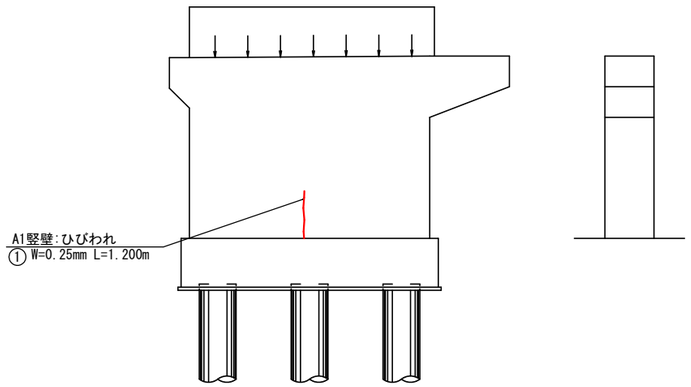
太岡寺ばんた橋 補修図

S=図示

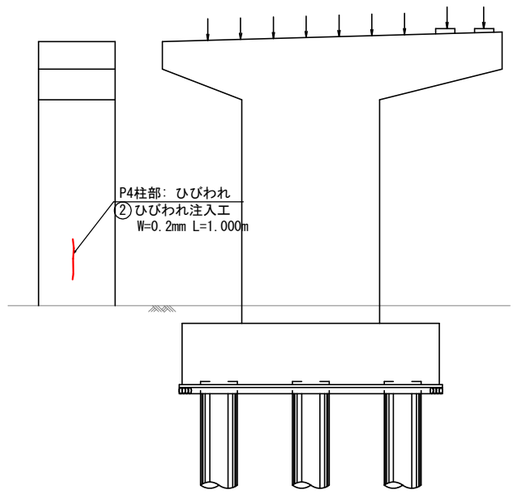
正 面 図

S=1:100

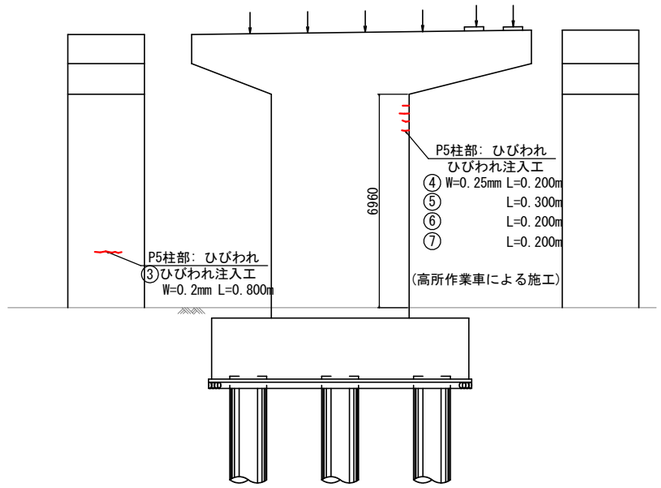
A1橋台
（終点側）



P4橋脚
（終点側）

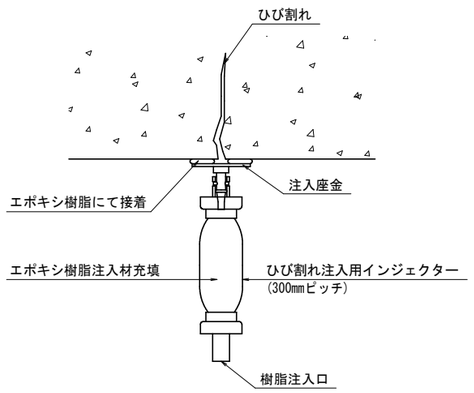


P5橋脚
（終点側）



ひび割れ注入工

（ひび割れ幅0.5mm以下）



1m当り

工 種	規 格	数 量	備 考
ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系	0.026 kg	
シール工	エポキシ樹脂系	0.256 kg	
注入インジェクター		3 個	@300

注記 ： ひび割れ注入施工手順

1. ひび割れに沿って幅50mm程度ディスクサンダー等にて下地処理を行う
2. ひび割れ中心位置に注入パイプを300mm間隔程度に取り付ける。
3. ひび割れに沿って幅50mm厚さ3mm程度シール材にてシールする。
4. 注入パイプを取り付け、エポキシ樹脂を注入する。
5. 硬化後取り付けパイプを撤去しディスクサンダー等にて仕上げる。
6. 0.5mm以上の連続したひび割れが確認された場合には、注入材料及び工法について協議すること。

損傷状況及び形状寸法

径間位置	箇所番号	橋台位置	幅 (mm)	長さ (m)	厚さ (m)	箇所数	損傷の種類	補修処理工法
A1-P1	①	Ａ１橋台	0.25	1.20	－	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
P4	②	Ｐ４橋脚	0.20	1.00	－	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
P5-P6	③	Ｐ５橋脚	0.20	0.80	－	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
	④	Ｐ５橋脚	0.25	0.20	－	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
	⑤	Ｐ５橋脚	0.25	0.30	－	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
	⑥	Ｐ５橋脚	0.25	0.20	－	1	ひびわれ	ひび割れ注入工
	⑦	Ｐ５橋脚	0.25	0.20	－	1	ひびわれ	ひび割れ注入工

工 事 名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図 面 名	太岡寺ばんた橋 補修図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	13
会 社 名			
事務所名	亀山市		

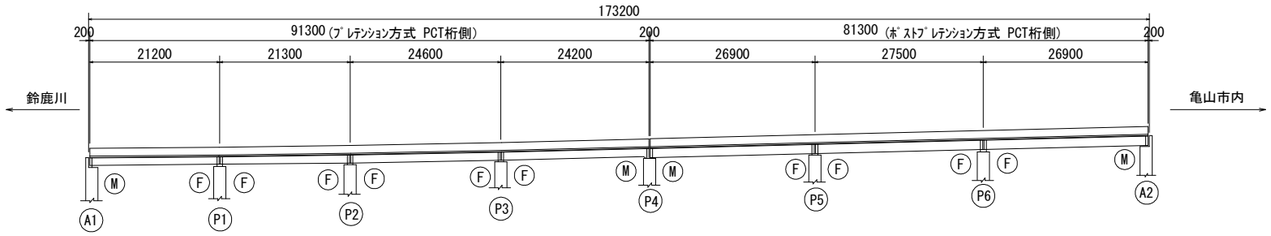
太岡寺ばんた橋 伸縮装置補修工詳細図

S=図示

（参考：ｽｰﾊﾟｰｶﾞｲﾄｯﾌﾟｼﾞｮｲﾝﾄSGT-125型、SGT-150型、GS-125型、GS-150形同等品以上）

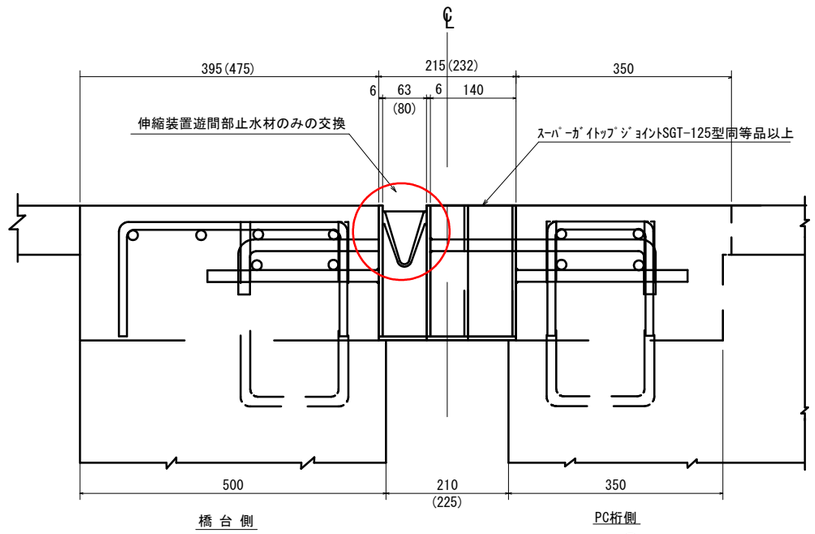
側 面 図

S=1:500



A1 A2車道部既設ｼﾞｮｲﾝﾄ断面図

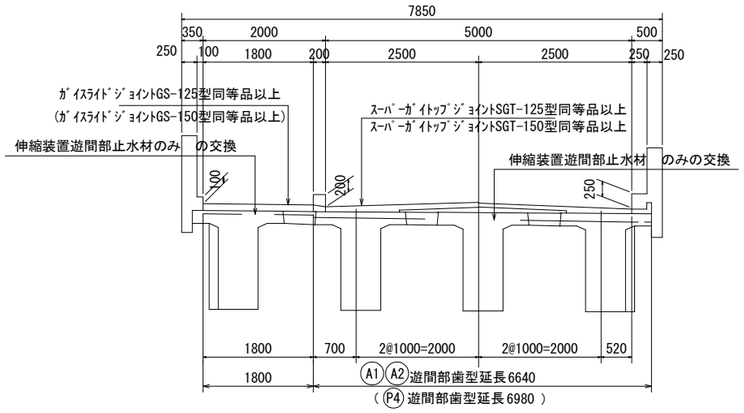
S=1:5



※（ ）内寸法は、(A2)側を示す。

A1 P4 A2 既設ｼﾞｮｲﾝﾄ配列図

S=1:50



※（ ）内寸法は、(P4)側を示す。

施工フロー（車道部）

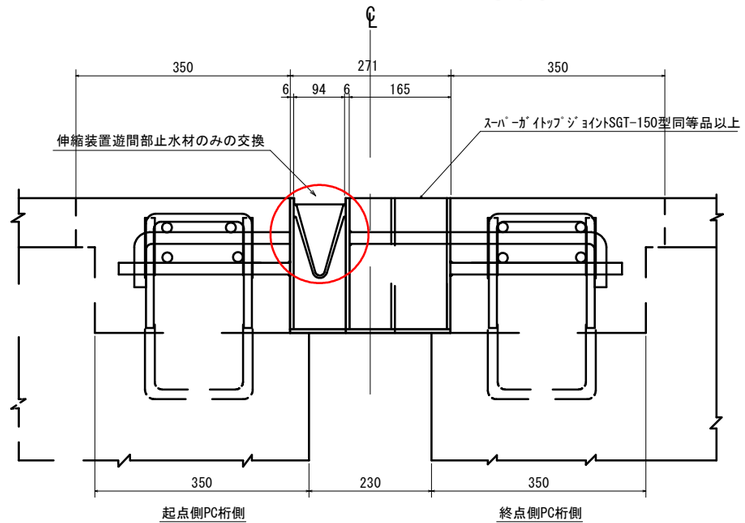
交通規制工
↓
ｼﾞｮｲﾝﾄ遊間部の充填物撤去
↓
SGTラバーの撤去
↓
SGTﾌｨﾝｶﾞｰﾌﾟﾚｰﾄｹﾚﾝ処理
↓
保持金物の溶接固定
↓
ﾃｸﾉｳｫｰﾀｰｽﾄｯﾌﾟ同等品以上設置
↓
弾性ｼｰﾙ材用ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布
↓
弾性ｼｰﾙ材撹拌、充填
↓
養生
↓
完成
↓
交通規制解除

施工フロー（歩道部）

交通規制工
↓
ｶﾞｲｽﾗｲﾄﾞｼﾞｮｲﾝﾄ縞鋼板の撤去
↓
GTラバーの清掃
↓
弾性ｼｰﾙ材用ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布
↓
弾性ｼｰﾙ材撹拌、充填
↓
養生・縞鋼板の取付
↓
完成
↓
交通規制解除

P4車道部既設ｼﾞｮｲﾝﾄ断面図

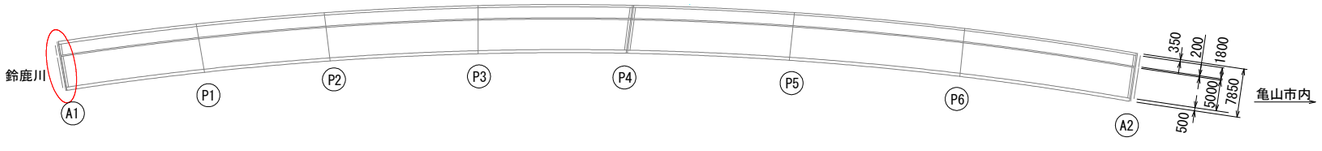
S=1:5



※外気温は、21℃時

平 面 図

S=1:500



既設ジョイント型式

車道部 (A1)(A2) ｽｰﾊﾟｰｶﾞｲﾄｯﾌﾟｼﾞｮｲﾝﾄSGT－125型同等品以上
(P4) ｽｰﾊﾟｰｶﾞｲﾄｯﾌﾟｼﾞｮｲﾝﾄSGT－150型同等品以上

歩道部 (A1)(A2) ｶﾞｲｽﾗｲﾄﾞｼﾞｮｲﾝﾄGS－125型同等品以上
(P4) ｶﾞｲｽﾗｲﾄﾞｼﾞｮｲﾝﾄGS－150型同等品以上

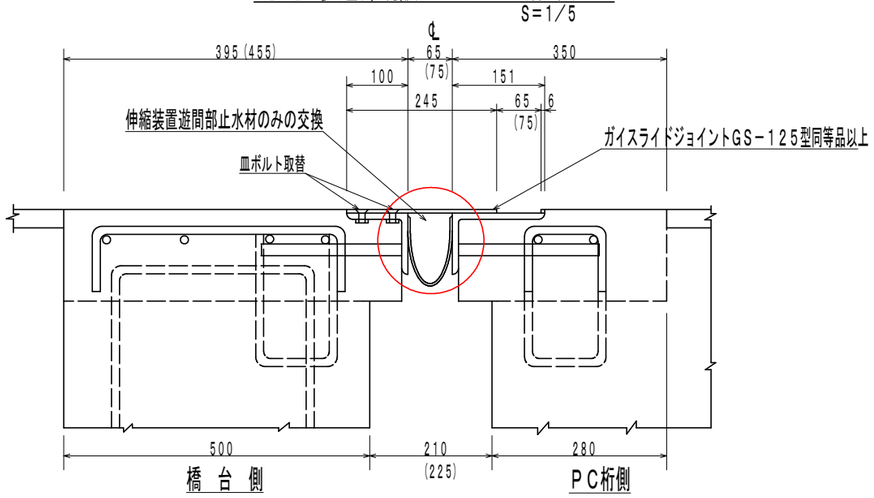
工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	太岡ばんた橋 伸縮装置補修工詳細図		
年月日			
尺度	図 示	図面番号	14
会社名			
事務所名	亀山市		

太岡寺ばんた橋 伸縮装置遊間部補修詳細図（その２）

（参考：ｽｰﾊﾟｰｶﾞｲﾄｯﾌﾟｼﾞｮｲﾝﾄSGT-125型、SGT-150型、GS-125型、GS-150形同等品以上）

ⒶⒶ2 歩道部既設ジョイント断面図

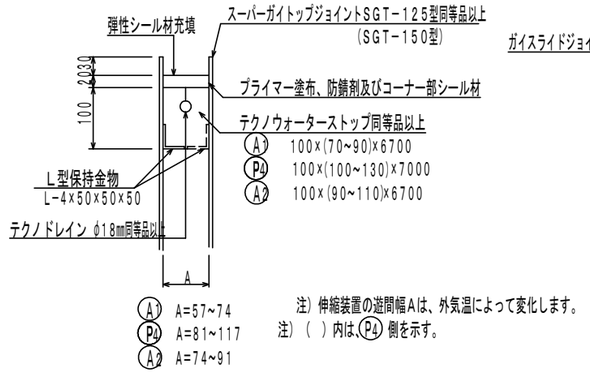
S=1/5



※ （ ）内寸法は、(A2) 側を示す。
※ 外気温は、21℃時

ⒶⓅ4Ⓐ2 車道部 遊間部補修断面図

S=1/5

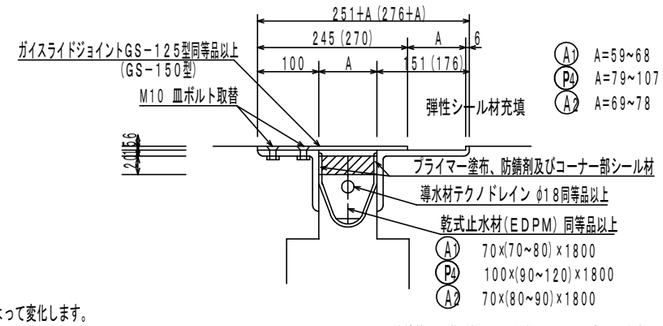


A1 A=57~74
P4 A=81~117
A2 A=74~91

注）伸縮装置の遊間幅Aは、外気温によって変化します。
注）（ ）内は、(P4) 側を示す。

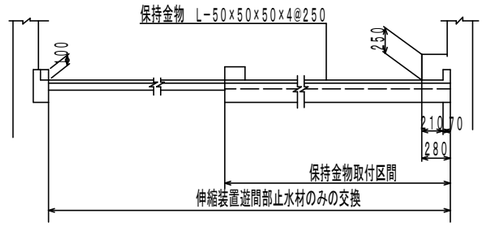
ⒶⓅ4Ⓐ2 歩道部遊間部補修断面図

S=1/5

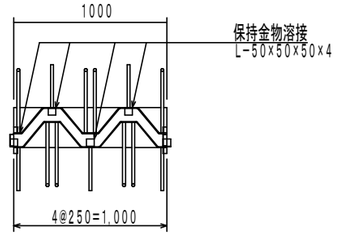


注）伸縮装置の遊間幅Aは、外気温によって変化します。
注）（ ）内は、(P4) 側を示す。

保持金物取付位置図

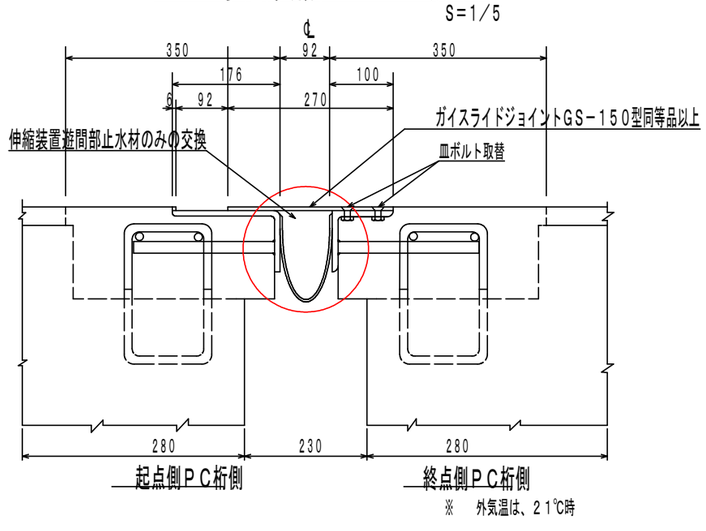


保持金物位置図 S=1/20



ⓅⓄ4 歩道部既設ジョイント断面図

S=1/5



※ 外気温は、21℃時

注1）仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。

材 料 表 （太岡寺ばんた橋 車道部補修）

品 名	摘 要	単 位	数 量	備 考
止水材交換		m	20.26	(A1)(P4)(A2)
弾性シール材		kg	50.49	16.9kg/缶
防錆剤及びコーナー部シール材	0.3kg/m	kg	6.07	2.2kg/缶
専用プライマー	300g	m	291.74	800g/缶
テクノウォーターストップ同等品以上	100×(70~90)×6640	m	6.64	(A1) テクノドレイン φ18同等品以上含む
テクノウォーターストップ同等品以上	100×(100~130)×6800	m	6.98	(P4) テクノドレイン φ18同等品以上含む
テクノウォーターストップ同等品以上	100×(90~110)×6640	m	6.64	(A2) テクノドレイン φ18同等品以上含む
保持金物	L-4×50×50×50	枚	72.00	(A1)(P4)(A2)
カバープレート撤去・設置	車道部地覆側	箇所	3.00	(A1)(P4)(A2)

材 料 表 （太岡寺ばんた橋 歩道部補修）

品 名	摘 要	単 位	数 量	備 考
止水材交換		m	5.40	(A1)(P4)(A2)
縞鋼板撤去・設置	既成品 再使用	m	5.40	(A1)(P4)(A2)
弾性シール材		kg	12.02	16.9kg/缶
防錆剤及びコーナー部シール材	0.3kg/m	kg	1.62	2.2kg/缶
専用プライマー	300g	g	77.76	800g/缶
乾式止水材（EDPM）同等品以上	70×(70~80)×1,800	m	1.80	(A1) テクノドレイン φ18同等品以上含む
乾式止水材（EDPM）同等品以上	100×(90~120)×1,800	m	1.80	(P4) テクノドレイン φ18同等品以上含む
乾式止水材（EDPM）同等品以上	70×(80~90)×1,800	m	1.80	(A2) テクノドレイン φ18同等品以上含む
皿ボルト	M10	個	30.00	

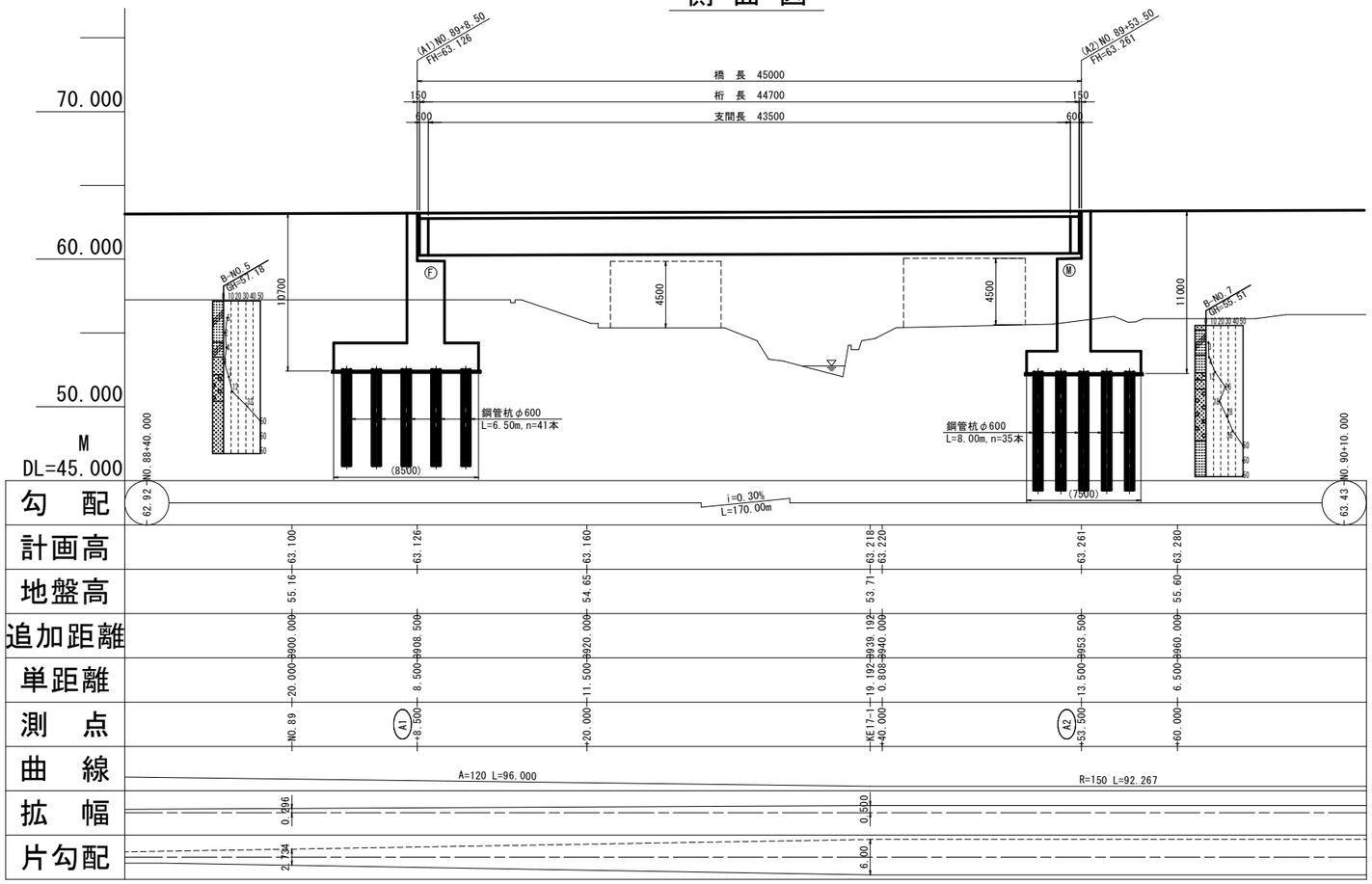
注記）
1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地調査」等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工数量については、必ず現地にて寸法計測を行い、現地状況確認の上で補修数量および施工方法を監督職員の承諾を得て決定すること。

工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	太岡ばんた橋 伸縮装置補修工詳細図（その２）		
年月日			
尺度	図示	図面番号	15
会社名			
事務所名	亀山市		

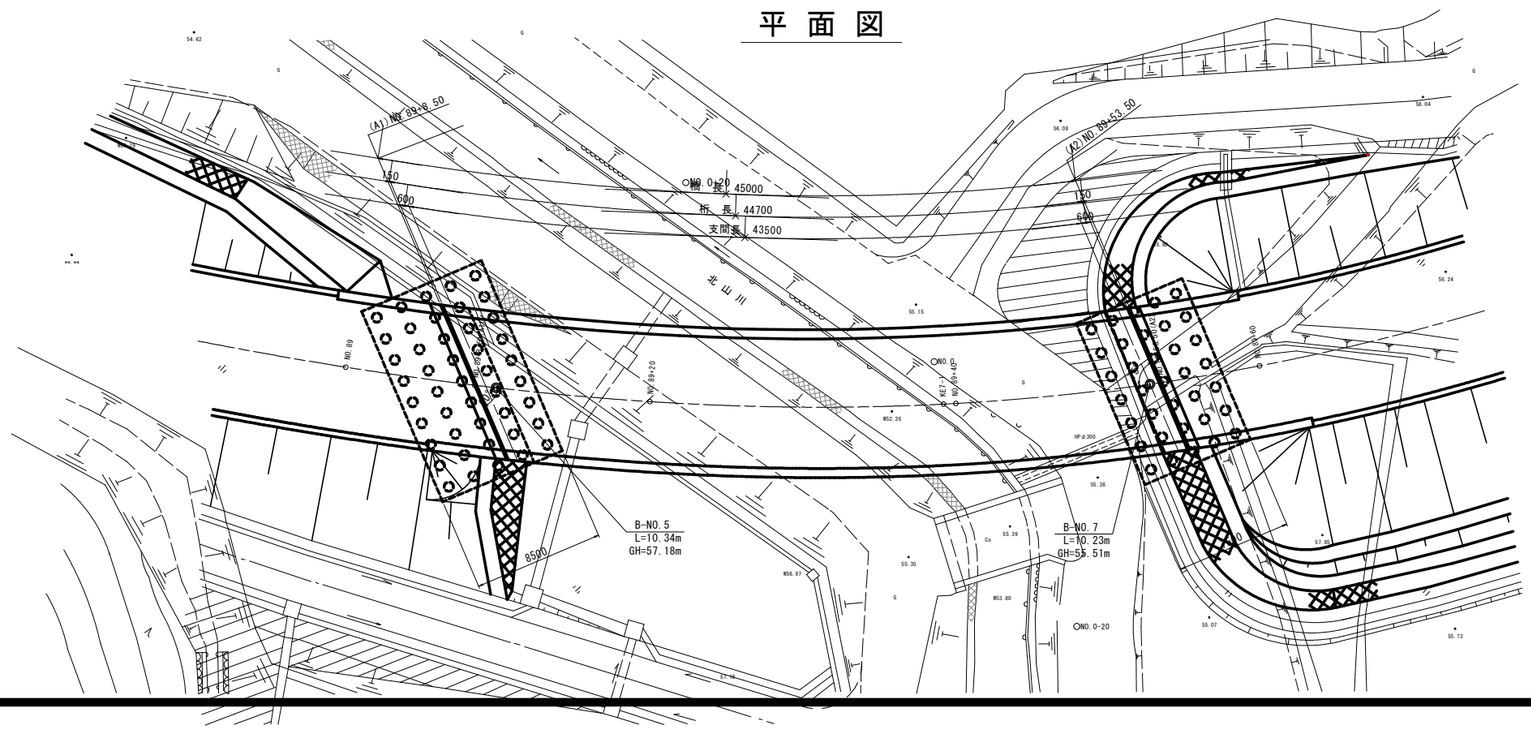
北　山　橋

北山橋　現況一般図 S=1/200

側面図



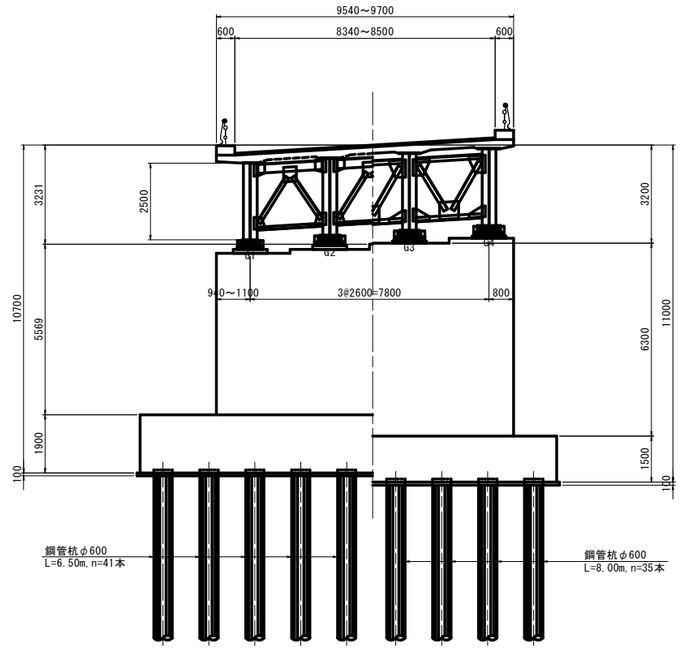
平面図



断面図

S=1/100

A 1 橋 台　　A 2 橋 台



設計条件

上部構造	橋の重要度		B　種
	設計荷重		B 活荷重
	橋種型式		単純非合成鈑桁橋
	橋長		L` = 45.000 m
	幅員		B` = 8.500 m
	支間長		L = 43.500 m
	桁高		H = 2.500 m
	主桁間隔		2.600 m
	支承・伸縮継手		ゴム支承 | ゴム製
下部構造	躯体形式	A 1 橋台	逆 T 式 橋 台
		A 2 橋台	逆 T 式 橋 台
	基礎形式	A 1 橋台	杭基礎（鋼管杭φ600）
		A 2 橋台	杭基礎（鋼管杭φ600）
	設計水平震度	A 1 橋台	0.25　(0.20)
		A 2 橋台	0.25　(0.20)
	設計鉛直震度		K V = 0
	支持地盤		A1橋台 砂層 A2橋台 硬質粘度層

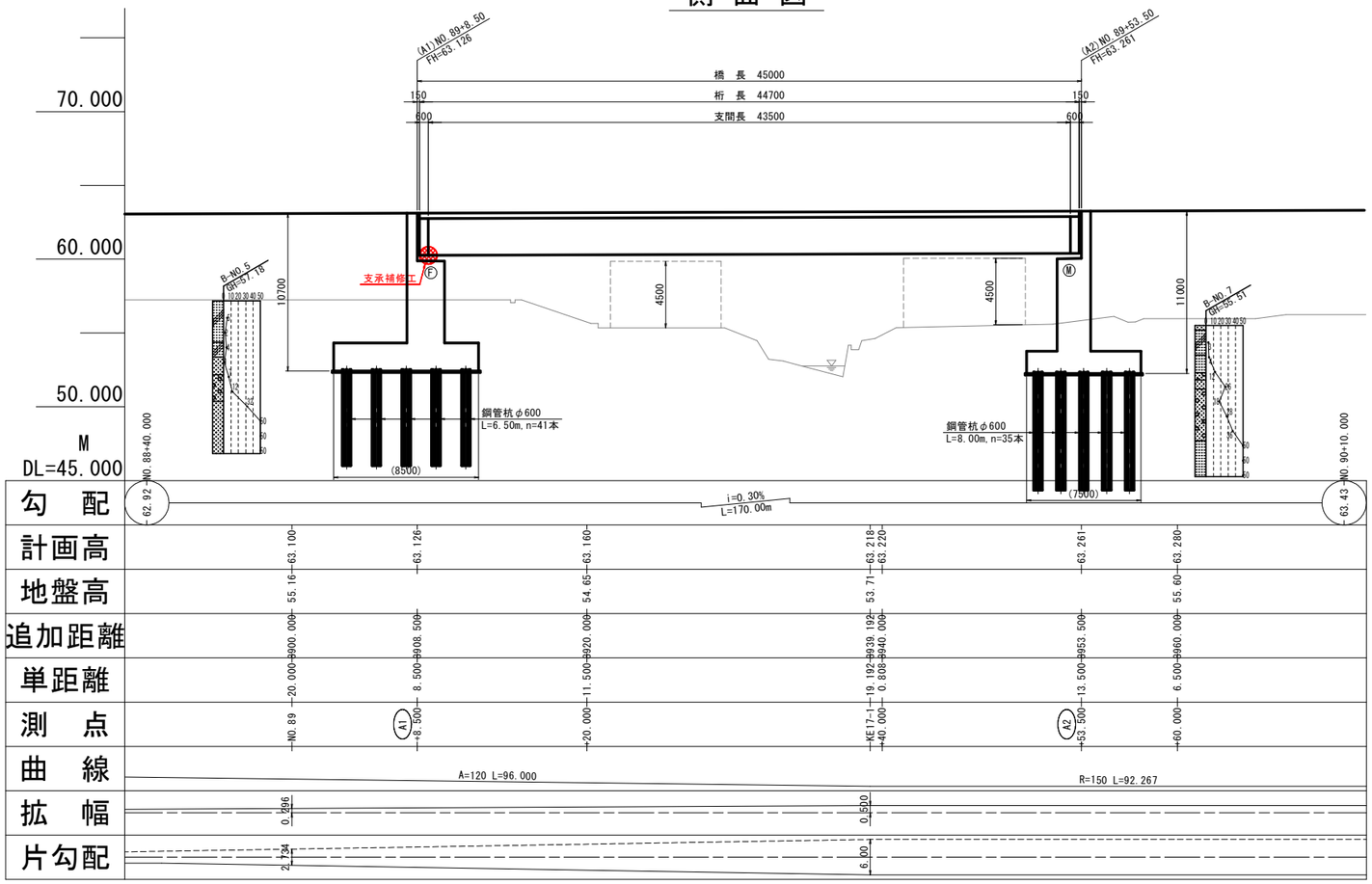
（ ）内数値は、背面土用設計水平震度を示す。

※橋梁計上寸法は建設当時の竣工図面をトレースしている。

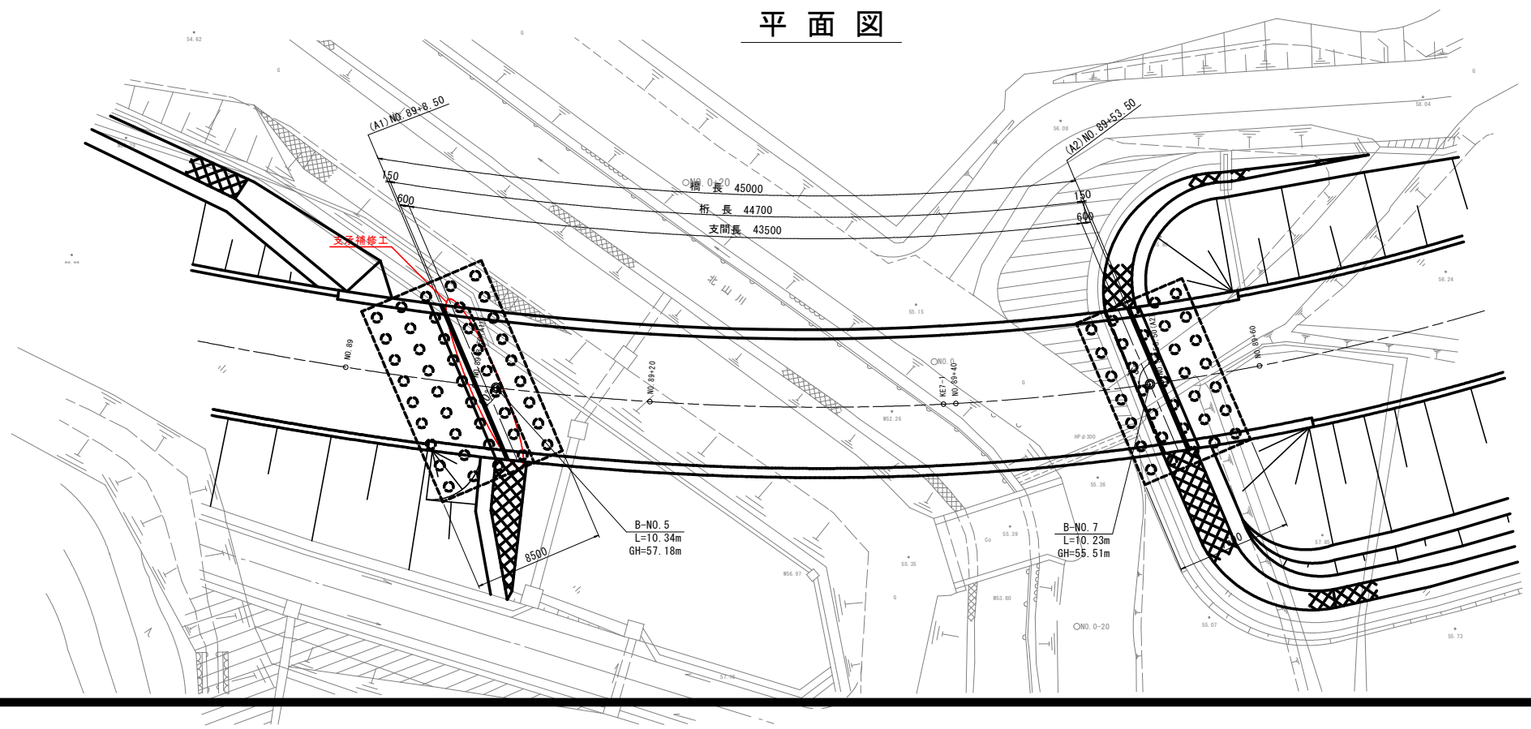
工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	北山橋 現況一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	16
会社名			
事務所名	亀山市		

北山橋 補修一般図 S=1/200

側 面 図



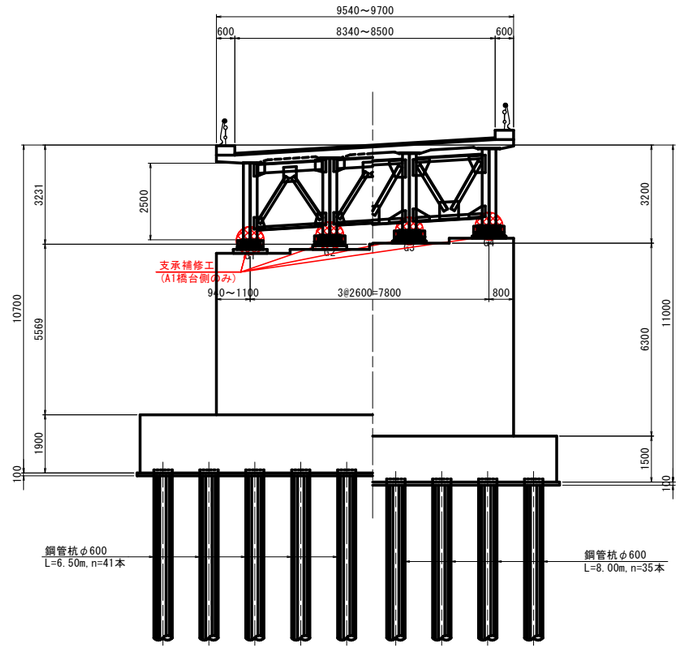
平 面 図



断 面 図

S=1/100

A 1 橋 台　　A 2 橋 台



設計条件

上部構造	橋の重要度		B 種
	設計荷重		B 活荷重
	橋種型式		単純非合成鈑桁橋
	橋長		L` = 45.000 m
	幅員		B` = 8.500 m
	支間長		L = 43.500 m
	桁高		H = 2.500 m
	主桁間隔		2.600 m
	支承・伸縮継手		ゴム支承 ゴム製
下部構造	躯体形式	A 1 橋台	逆 T 式 橋 台
		A 2 橋台	逆 T 式 橋 台
	基礎形式	A 1 橋台	杭基礎（鋼管杭φ600）
		A 2 橋台	杭基礎（鋼管杭φ600）
	設計水平震度	A 1 橋台	0.25 (0.20)
		A 2 橋台	0.25 (0.20)
	設計鉛直震度		K V = 0
	支持地盤		A1橋台 砂層 A2橋台 硬質粘度層

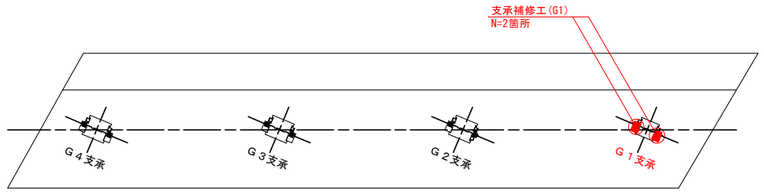
( )内数値は、背面土用設計水平震度を示す。

※橋梁計上寸法は建設当時の竣工図面をトレースしている。

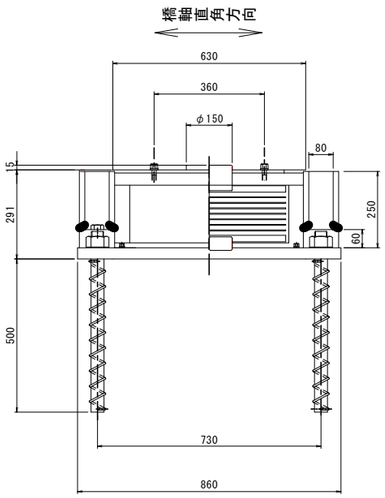
工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	北山橋 補修一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	17
会社名			
事務所名	亀山市		

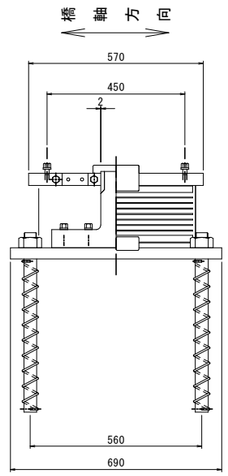
北山橋　支承補修図（その１）

Ａ１橋台支承配置図 S=1:100
（ 固 定 支 承 G1 ）

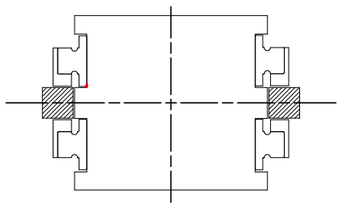


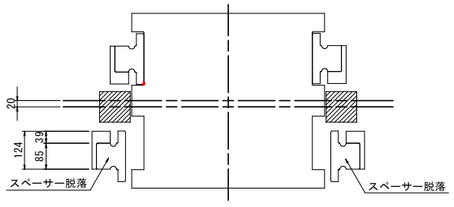
支承断面図 S=1:10

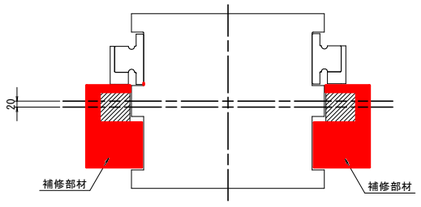




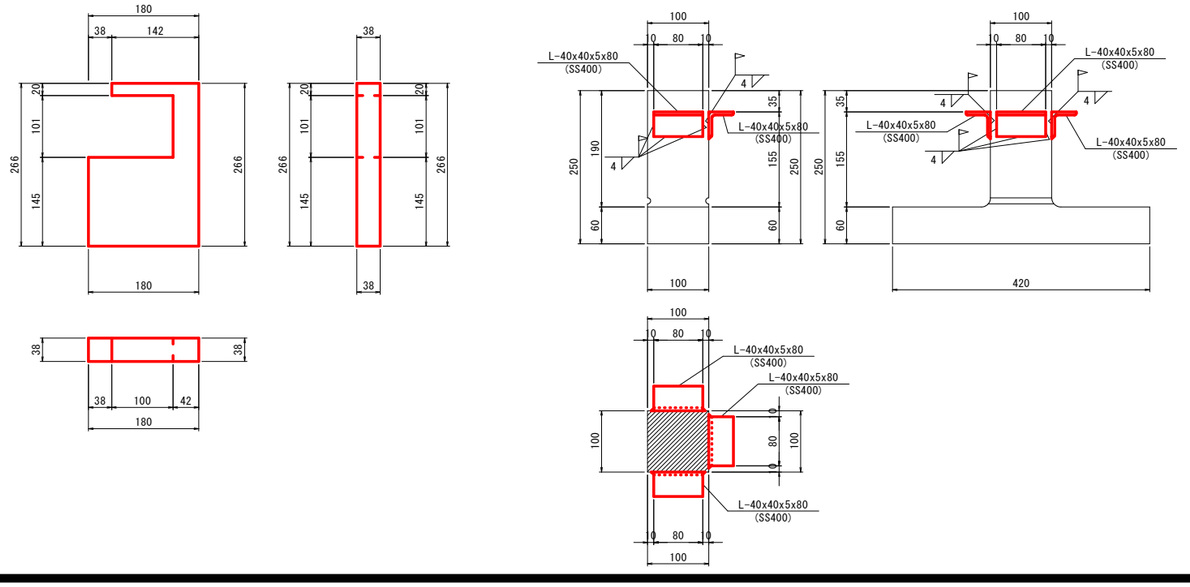
支 承 上 面 図 S=1:10







支承補修部品図 S=1:5

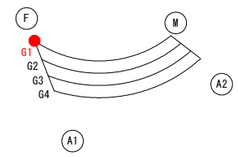


支承補修工数量表（G1）

1箇所当り

項　　目	規　　格	単位	数量	備考
平鋼	t=38(SM490B)	kg	9.9	
形鋼	L-40x40x5(SS400)	kg	0.7	
溶接延長	6mm換算	m	0.213	
塗装面積		m	0.144	

配　置　図



※注記
１．現地寸法を確認の上、取付位置及び部材の寸法を決定すること。
２．スペーサー未補修箇所の補修のため、健全箇所(補修済G2桁-G1側)の補修は行わない。

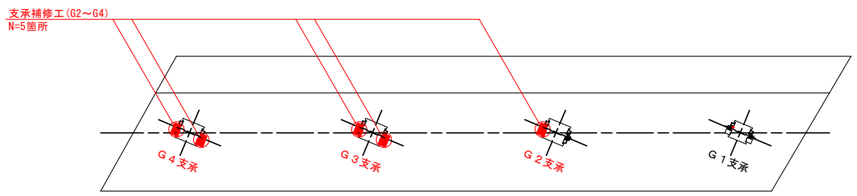
１箇所当り材料

1-PL 180x38x266(SM490B)
3-L 40x40x5x80(SS400)

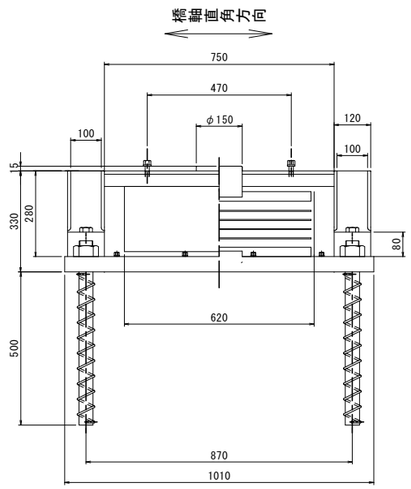
工 事 名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図 面 名	北山橋 支承補修図(その１)		
年 月 日			
尺　　度	図　示	図面番号	18
会 社 名			
事務所名	亀山市		

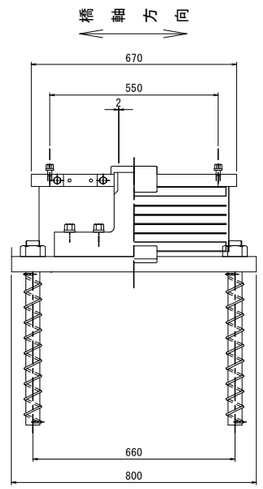
北山橋　支承補修図（その２）

Ａ１橋台支承配置図 S=1:100
（ 固定支承 G2～G4 ）

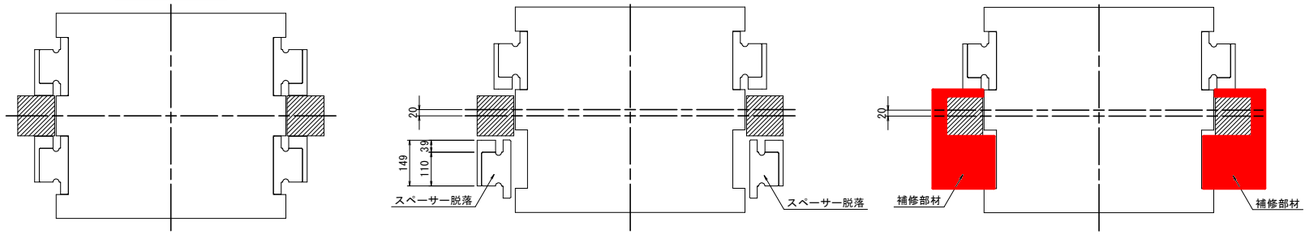


支承断面図 S=1:10

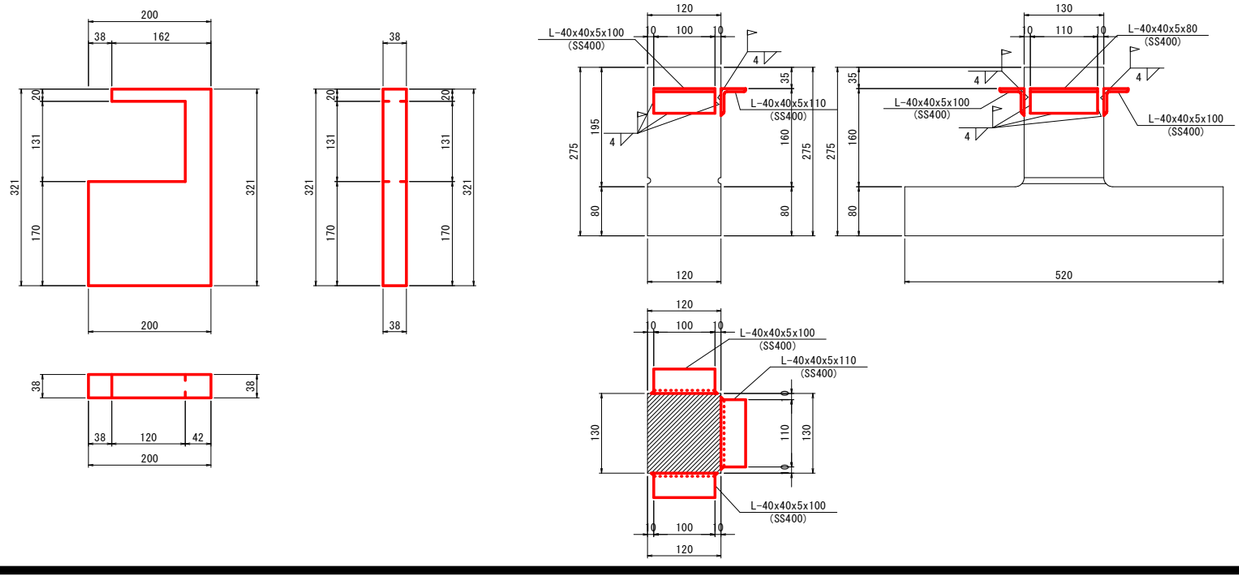




支 承 上 面 図 S=1:10



支承補修部品図 S=1:5

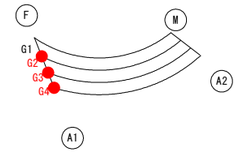


１箇所当り材料
1-PL 200x38x321(SM490B)
1-L 40x40x5x110(SS400)
2-L 40x40x5x100(SS400)

支承補修工数量表（G2～G4）
1箇所当り

項　　目	規　　格	単位	数量	備考
平鋼	t=38(SM490B)	kg	12.7	
形鋼	L-40x40x5(SS400)	kg	0.9	
溶接延長	6mm換算	m	0.249	
塗装面積		m	0.182	

配　置　図



※注記
１．現地寸法を確認の上、取付位置及び部材の寸法を決定すること。
２．スペーサー未補修箇所の補修のため、健全箇所(補修済G2桁-G1側)の補修は行わない。

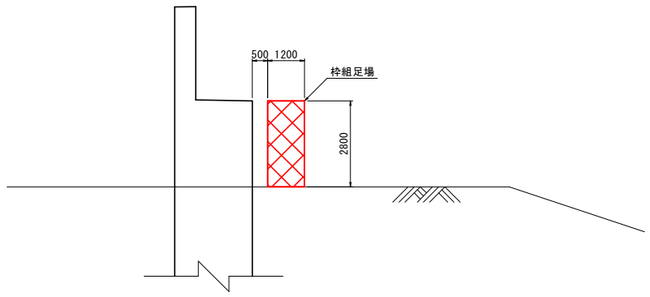
工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	北山橋 支承補修図(その２)		
年月日			
尺　度	図　示	図面番号	19
会社名			
事務所名	亀山市		

北　山　橋

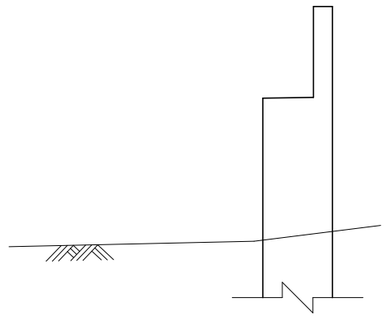
足　場　参　考　図

側　面　図　S=1:100

Ａ１橋台

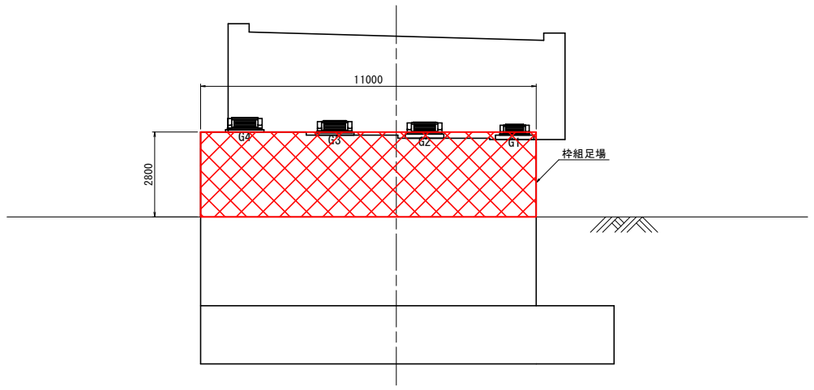


Ａ２橋台

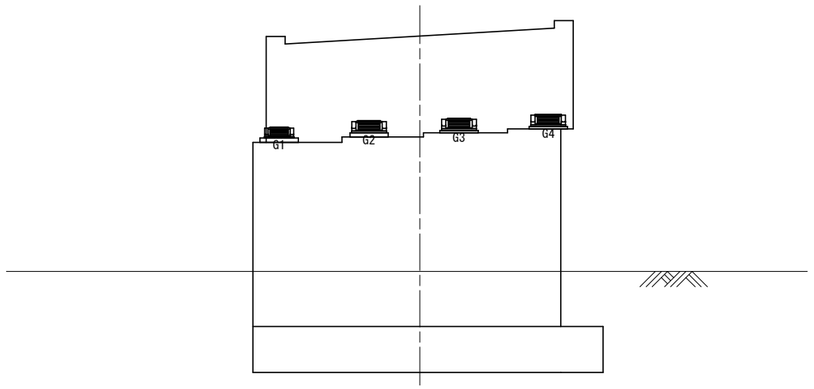


正　面　図　S=1:100

Ａ１橋台



Ａ２橋台



工事名	布気跨道橋ほか2橋橋梁修繕工事		
図面名	北山橋 足場参考図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	20
会社名			
事務所名	亀山市		